かんたん設置ガイド

MFC-9640CW
MFC-9840CDW

接続・設置する

パソコンに接続する

Windows®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

Macintosh®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

付　録

はじめにお読みください

本製品を使用するには、本製品の設定を行い、お使いのパソコンにドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。正しい設定とインストールのために、この「かんたん設置ガイド」を必ずお読みください。

付属のCD-ROMから「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を見ることができます。本製品の使い方やネットワーク、ソフトウェアの設定など知りたい情報をすばやく探せます。詳しくはユーザーズガイドを参照してください。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

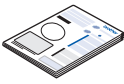
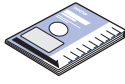
1 ユーザーズガイド「こんなときは」で調べる　ユーザーズガイド

2 サポート ブラザー　検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

Version A

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』（本書）で設置が終了したら、目的に応じてユーザーズガイドを活用してください。

冊子

はじめにお読みください

「かんたん設置ガイド」（本書）

・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

「ユーザーズガイド」

・ファクスを送る
・コピーする
・デジタルカメラからプリント
・日常のお手入れ
・消耗品や部品の交換

HTML（CD-ROM）

使いたい機能をすばやく探せます

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■「ユーザーズガイド」
・ファクス/プリンタ/コピーの使いかた
・トラブルがおきたときの対処方法
・消耗品の注文

■「パソコン活用ガイド」
・プリンタとして使う
・スキャナとして使う
・パソコンからファクスを送受信する
・Control Centerで便利に使う

■「ネットワーク設定ガイド」
・LANにつないで使う
・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

PDF

ブラザーソリューションセンターからダウンロードしてください

「パソコン活用ガイド」
「かんたん設置ガイド」
「ネットワーク設定ガイド」
「ユーザーズガイド」

補足

●Windows®をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows®のスタートメニューから画面で見るマニュアル（HTML形式）を閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX※］－［画面で見るマニュアル（HTML形式）］を選んでください。

●Macintosh®をお使いの場合
①CD-ROMをMacintosh®のCD-ROMドライブにセットします。
②［Documentation］フォルダをダブルクリックします。
③画面で見るマニュアル（HTML形式）：MFC-XXXX※_JpnTop.htmlファイルを開いてください。
※XXXXはモデル名です。

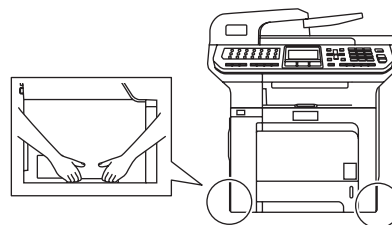
●最新のユーザーズガイドは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

■ 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。
■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口 0120-143-410」までご連絡ください。
■ お客様または第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■ 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
■ 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（ユーザーズガイド「電話帳リストを印刷する」、「メモリーに受信したファクスを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■ ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（0120-118-825）へご注文ください。（土、日、祝日、長期休暇を除く　9:00～12:00　13:00～17:00）

本書の表記

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.xxx	ユーザーズガイド（印刷版）の参照先を記載しています。（XXXはページ）
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。

警告

本製品を持ち運ぶときは、必ず２人で作業し、
図のように本製品の両脇を持ってください。
本製品をの底面を持たないでください。

製品を梱包しているビニール袋は幼児の手の届くところに置かないでください。
誤ってかぶると窒息のおそれがあります。

目　次

Windows Server® 2003をお使いの場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

接続・設置する

1 付属品を確認する

箱の中に次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りないものがあったりユーザーズガイドに落丁があったときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

1. ADF（自動原稿送り装置）
2. 操作パネル
3. 排紙ストッパー
4. USBメモリー差込口
5. 多目的トレイ（MPトレイ）
6. 標準記録紙トレイ
7. 電源スイッチ
8. フロントカバー
9. 原稿ストッパー
10. 原稿台カバー
11. 原稿ガイド

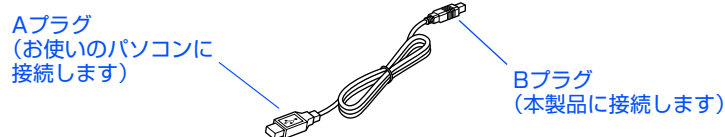
かんたん設置ガイド（本書）	ユーザーズガイド	CD-ROM（2枚）
トナーカートリッジ（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）	再梱包用部品（手順書、袋）	電源コード
ドラムユニット*	ベルトユニット*	廃トナーボックス*
電話機コード	保証書	

＊工場出荷時にあらかじめ取り付けられています。

注意

■箱や梱包材は廃棄せず、必ず大切に保管してください。

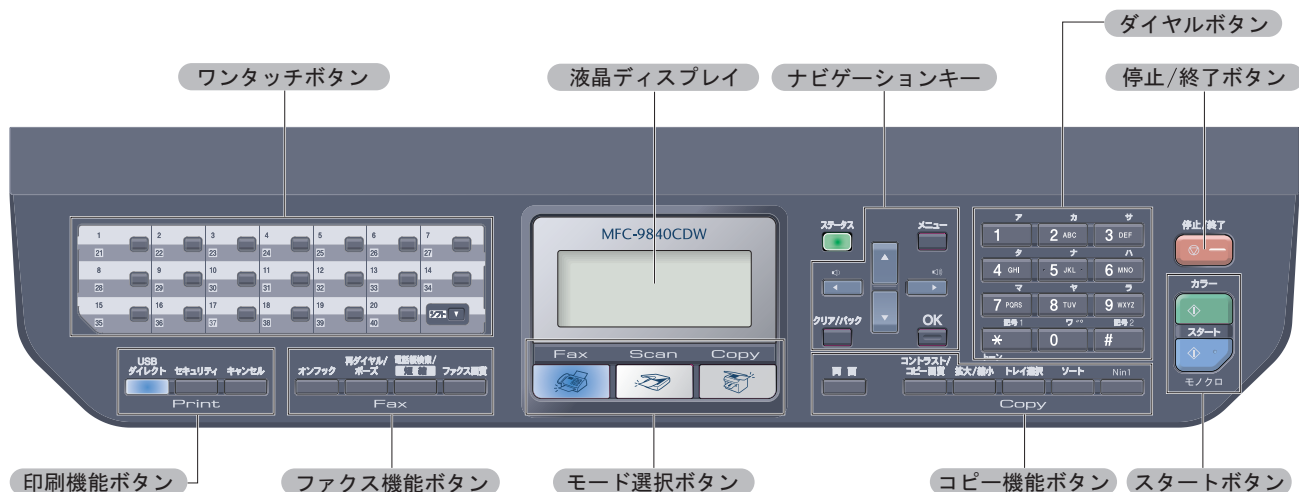
■本製品とパソコンをつなぐケーブルは同梱されておりません。次のいずれかのケーブルをお買い求めの上、お使いください。

- USBケーブル
  USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
  バスパワーのUSBハブやMacintosh®のキーボードなどのUSBポートに接続しないでください。
  パソコン本体のUSBポートに接続されているか確認してください。

- LANケーブル（ネットワークケーブル）
  カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXのストレートケーブルをお使いください。

2 操作パネル

操作パネルでは、機能の設定や指示を行ったり、本製品の状況を確認することができます。
詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.34 を参照してください。

MFC-9640CW

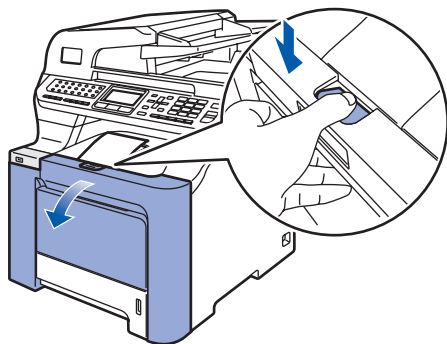
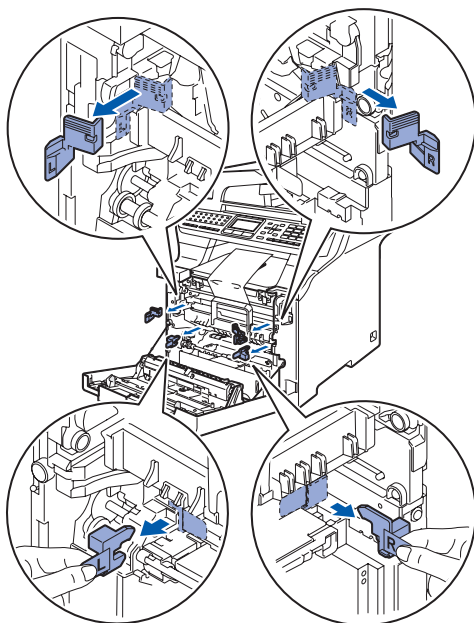
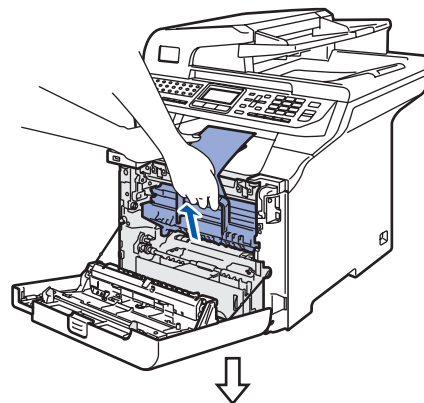
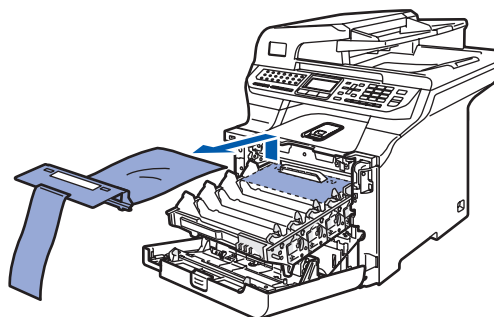
MFC-9840CDW

3 梱包材を取り外す

箱から本製品を取り出したあと、本体内部にセットされている保護部品および梱包材を取り除きます。
箱や取り外した部品は廃棄せずに保管してください。

注意

- 箱から本機を取り出したときは、シールやカバーを外してください。また、箱や梱包材は廃棄せずに保管してください。
- この時点ではまだ電源コードを接続しないでください。

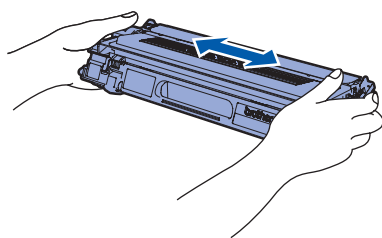
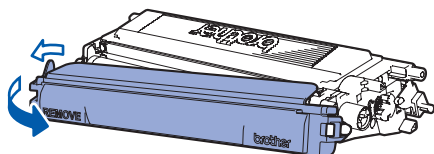
1 本製品に貼られているシールをはがす

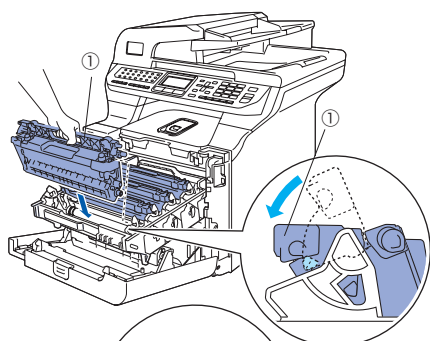
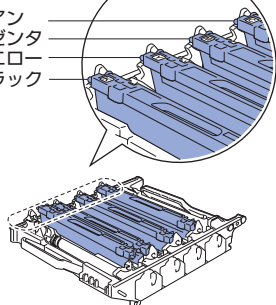
2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

3 図の位置にある4か所の保護部品（橙色）を取り外す

4 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、上に持ち上げてから手前に引き出す

5 図の位置にある保護部品（橙色）を取り外す

引き続き、トナーカートリッジの取り付けを行ってください。

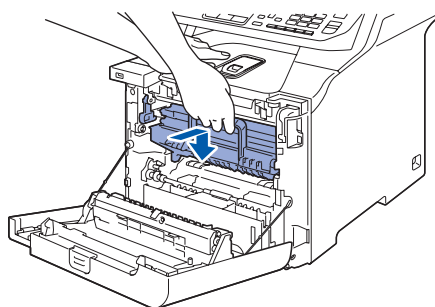
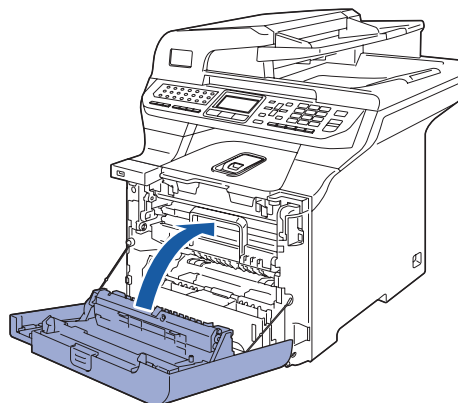
4 トナーカートリッジを取り付ける

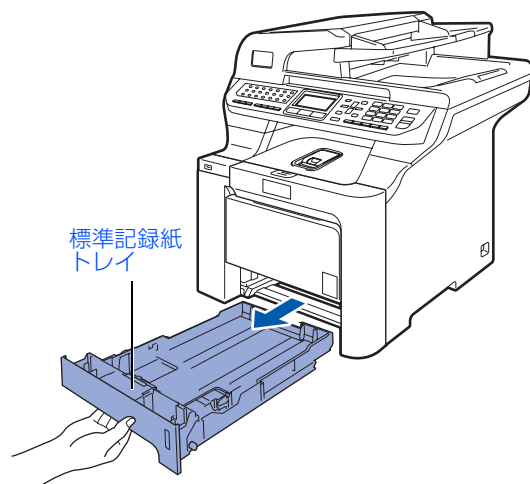
本製品のトナーカートリッジは4本あります。すべてセットしてください。

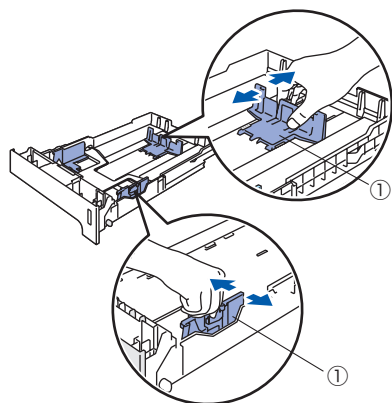
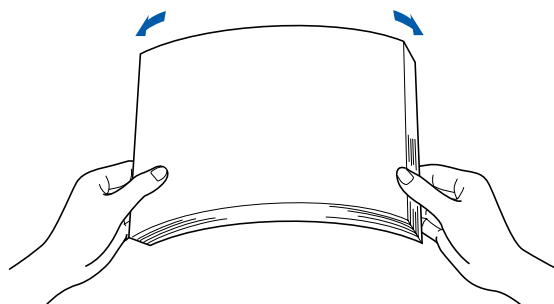
1 トナーカートリッジを袋から取り出す

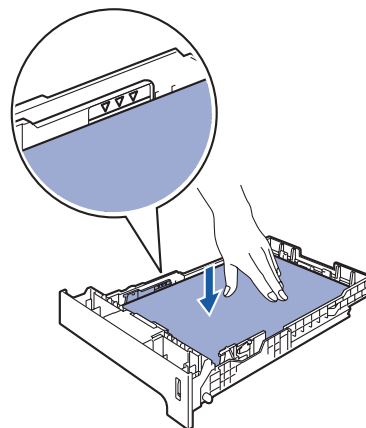
2 トナーがカートリッジ内で均一に分散するように、左右にゆっくりと5、6回振る

3 トナーカートリッジの保護カバーを取り外す

4 トナーカートリッジのハンドル部分を持ち、ラベルに書かれた色に合わせて本製品にセットする

セットしたらハンドル①を図のように手前に倒します。

5 すべてのトナーカートリッジを同様にセットする

6 ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、本製品にはめ込む

7 フロントカバーを閉じる

5 記録紙をセットする

1 標準記録紙トレイを引き出す

2 記録紙ガイド①を、使用する記録紙のサイズに合わせる

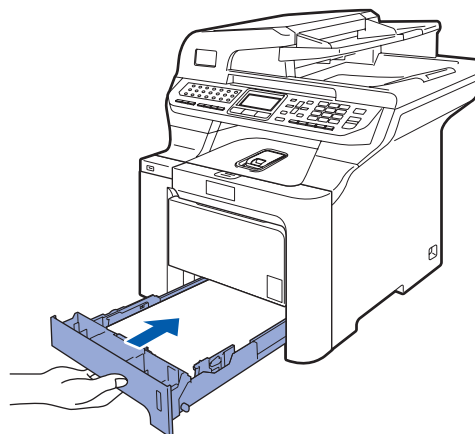
- レバーをつまみながら使用する記録紙の幅に合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 印刷したい面を下にして記録紙をセットする

記録紙がカセットの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。

注意

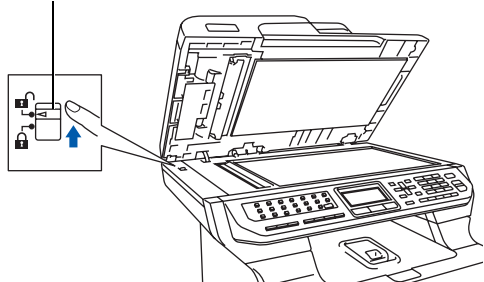
■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

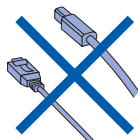
5 標準記録紙トレイを元に戻す

A4(80g/m²の普通紙)で約250枚までセットできます。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.41 を参照してください。

6 スキャナロックを解除する

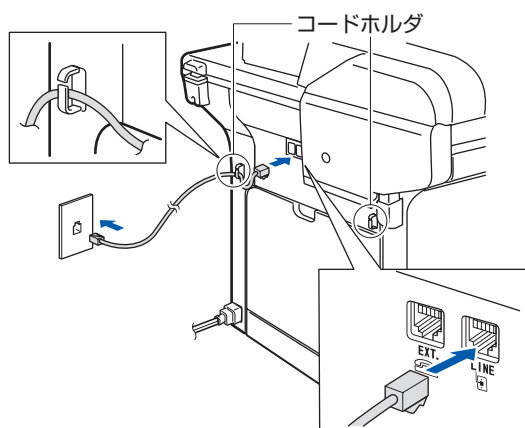
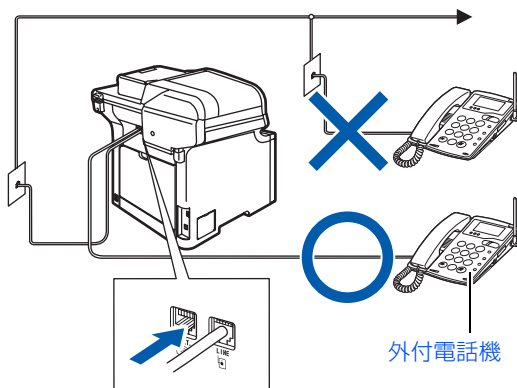
1 原稿台カバーを開ける

2 スキャナロックレバーを奥に押して、スキャナロックを解除します。

7 電話機コードを接続する

注意

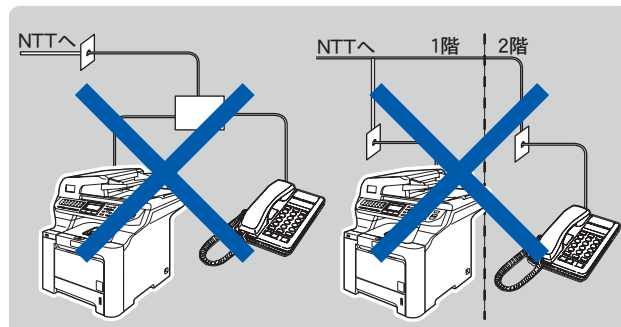
この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。

1 電話機コードの一方を背面の「LINE」端子に差し込む

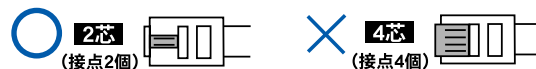
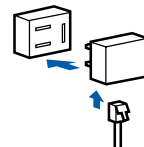
2 電話機コードのもう一方を壁側の電話機コンセントに差し込む

本製品の設置位置に合わせて、電話機コードをコードホルダへ納めてください。

- お使いの電話機を本製品と接続してご使用になる場合は、本製品背面の外付電話端子（EXT.）に付いているキャップをはずして接続します。

- ユーザーズガイドでは、本製品に接続した電話機を外付電話機と呼んでいます。

注意

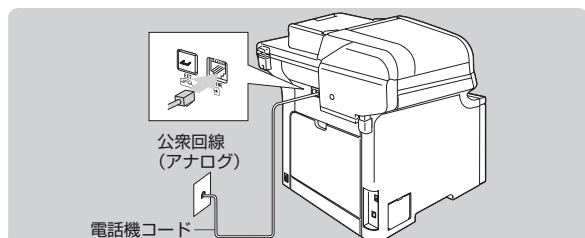
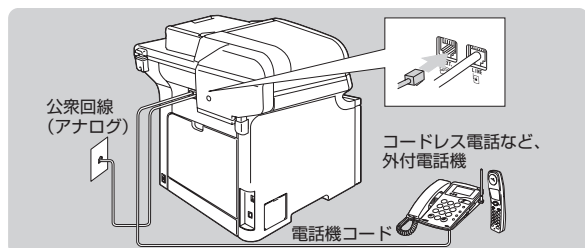
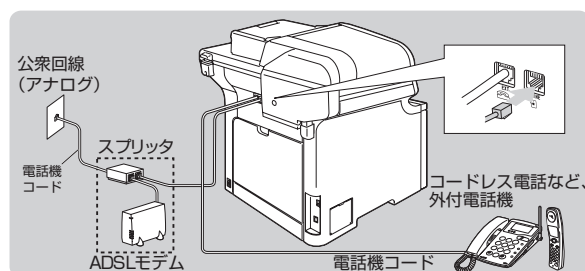
ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

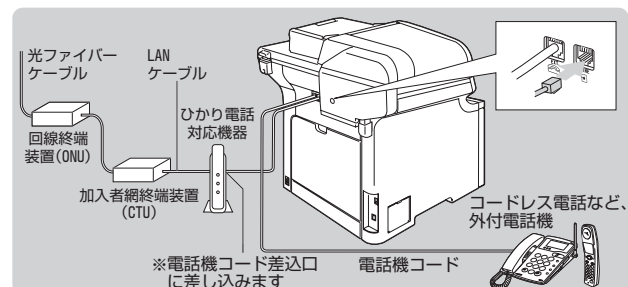
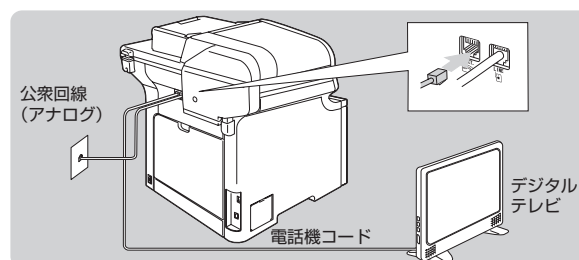
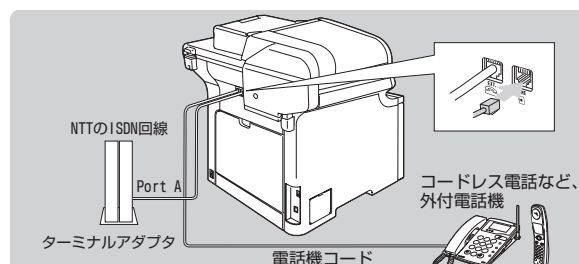
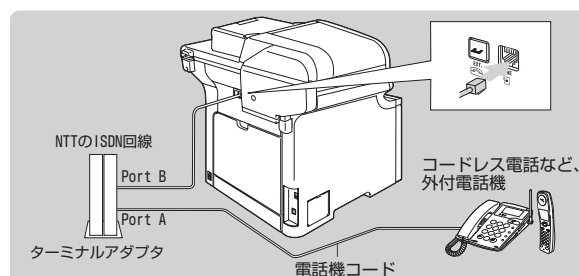
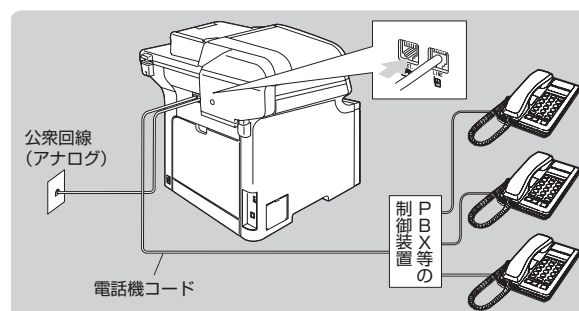
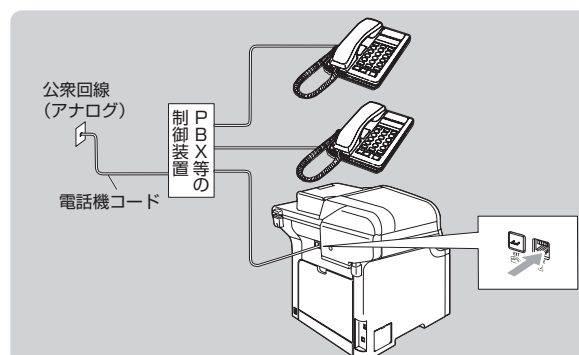
- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- 並列電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンなどのサービスが正常に動作しません。

補足

●付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2 芯の電話機コードをお使いください。6 極4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

●3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

●直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

本製品の接続イメージ

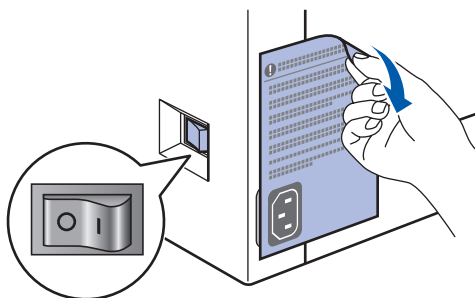
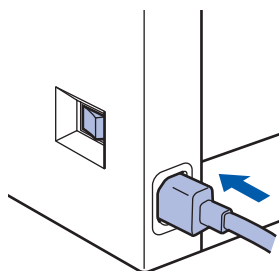
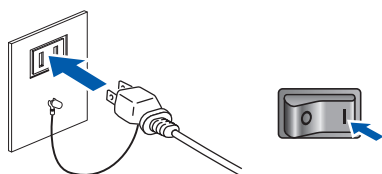
本製品の接続イメージを以下に示します。

●公衆回線に接続する場合（ファクス専用として使う場合）

●公衆回線に接続する場合（本製品に電話機を接続する場合）

●ADSL環境に接続する場合

の部分は、ご利用される機器によって一体型のADSLモデムの場合もあります。

●ひかり電話に接続する場合

●デジタルテレビを接続する場合

●ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合）

●ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合）

●構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

●内線電話として接続する場合

詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.61 を参照してください。

8 電源コードを接続する

1 電源スイッチがOFFになっていることを確認する

2 電源コード差込口のラベルをはがす

3 電源コードを本製品に接続する

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする

- 回線種別の自動設定が始まります。
- 自動設定が終わると、設定された回線種別が2秒間液晶ディスプレイに表示されます。

```
2008/05/01  10:08
FAX=ファクスセンヨウ
ダ゛イヤル 20PPS デ゛ス
```

警告

- 感電や火災防止のため、電源コード（日本国内での み使用可）は、必ず付属のものを使用してください。
- 感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

注意

■下記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

```
2008/05/01  10:08
FAX=ファクスセンヨウ
デ゛ンワキ コード゛ ヲ セツゾ゛ク シテク
```

正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別はプッシュ回線に設定されます。

電話機コード接続しない場合は［停止/終了］を押してください。

■自動で回線種別が設定できなかったときは、2 秒間下記のメッセージが表示されます。手動で回線種別を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.52 を参照してください。

```
2008/05/01  10:08
FAX=ファクスセンヨウ
セッテイ デ゛キマセンデ゛シタ
```

■構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。自動で回線種別の設定ができなかったときは、手動で回線種別を設定してください。

■ダイヤル回線 10PPS を使用しているときは、必ず手動で回線種別を設定してください。

補足

本製品を、電話回線に接続せずに使用する（コピー、プリンタ、スキャナなどとして使用する）ときは、手動で回線種別を設定します。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.52 を参照してください。どの回線種別を設定しても構いません。

9 基本的な設定をする

本製品を使うときに必要となる、基本的な設定を行います。ここでは、以下の設定方法を説明しています。
- 時計セット
- 発信元登録
- 受信モード
- 画面のコントラスト

操作パネルからは他にもいろいろな設定ができます。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.66 を参照してください。

日付と時刻をセットする（時計セット）

日付と時刻をセットします。ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 2 ABC を押す

```
02.トケイ セット

  ネン:20XX
ニュウリョク&OKボタン
```

2 年号（西暦の下2桁）を入力して OK を押す

例：2008年の場合は「08」

```
02.トケイ セット

  ネン:2008
ニュウリョク&OKボタン
```

3 月を2桁で入力して OK を押す

例：1月の場合は「01」

```
02.トケイ セット
  2008/XX/XX

  ツキ:01
ニュウリョク&OKボタン
```

4 日付を2桁で入力して OK を押す

例：21日の場合は「21」

```
02.トケイ セット
  2008/01/XX

  ヒヅケ:21
ニュウリョク&OKボタン
```

5 時刻（24時間制）を入力して OK を押す

例：午後3時25分の場合は「1525」

```
02.トケイ セット
  2008/01/21

  ジコク:15:25
ニュウリョク&OKボタン
```

6 停止/終了 を押す

補足

入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、正しい文字を入力し直してください。

名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 3 DEF を押す

```
03.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ

 ﾌｧｸｽ:
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

2 ファクス番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

```
03.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ

 ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

3 電話番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。
- ファクス番号と電話番号が同じときは同じ番号を入力してください。

```
03.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
 ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX

 ﾃﾞﾝﾜ:03XXXXXXXX
ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 名前を入力して OK を押す

20文字まで登録できます。

```
03.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ
 ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX
 ﾃﾞﾝﾜ:03XXXXXXXX
 ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷｹｲｺ        *
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

5 停止/終了 **を押す**

補足

入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。

詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.256 を参照してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

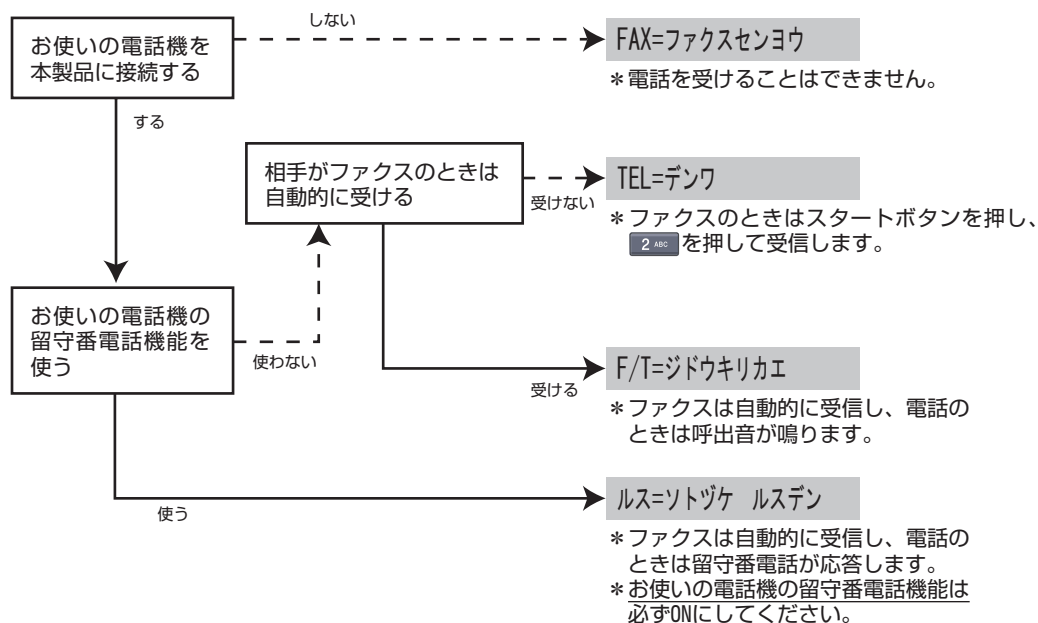
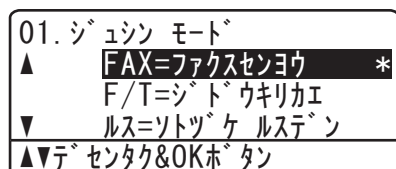
ボタン	入力できる文字
1	アイウエオァィゥェォ１
2 ABC	カキクケコＡＢＣ２
3 DEF	サシスセソＤＥＦ３
4 GHI	タチツテトッ ＧＨＩ４
5 JKL	ナニヌネノＪＫＬ５
6 MNO	ハヒフヘホＭＮＯ６
7 PQRS	マミムメモＰＱＲＳ７
8 TUV	ヤユヨャュョ ＴＵＶ８
9 WXYZ	ラリルレロＷＸＹＺ９
0	ワヲン゛゜ー０
*	（スペース）！"＃＄％&'（）＊＋，－．／€
#	：；＜＝＞？＠［］＾＿

文字の変更のしかた

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1 ～ 0 、＊ 、# を押す
文字を削除する	クリア/バック を押すと、カーソルが文字列の最後の後方にあるときはカーソルの左の1文字を削除します。カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除します。
文字を挿入する	◀ を押してカーソルを戻し、文字を入力する
スペース(空白)を入れる	▶ を押してカーソルを右に移動させる (文字のときは ▶ (2 回押) でスペースを入れることができます)
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊ または # ）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OK を押す

受信モードを選ぶ

お使いの電話機を本製品に接続するかどうか、また電話機の留守番電話機能を使うかどうかによってファクスの受信のしかたを設定します。設定する受信モードは以下の図を見て選んでください。

詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.59 を参照してください。

2 ▲または▼で受信モードを選択する

「FAX=ファクスセンヨウ」、「F/T=ジドウキリカエ」、「ルス=ソトヅケ　ルスデン」、「TEL=デンワ」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイの明るさを設定します。設置場所によって見づらい場合は設定を変更してください。

2 ◀ ▶ でコントラストを調整する

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

パソコンに接続する(Windows®)

本製品をパソコン（Windows® 機）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
Windows Server® 2003 をお使いの場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
Macintosh®をお使いの場合は、「STEP2 パソコンに接続する（Macintosh®）」P.41を参照してください。

1 インストールの前に

本製品をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROMに収録されている内容とパソコンの動作環境 P.64 を確認してください。

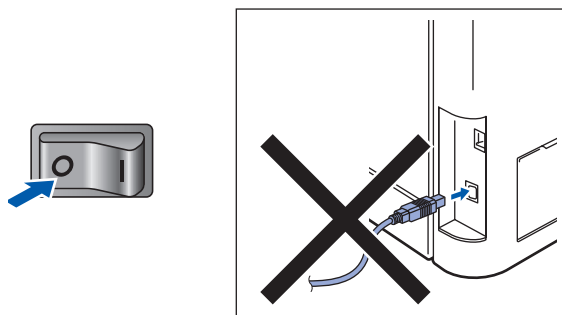
CD-ROMの内容

インストール
また、本製品をより便利にお使いいただくために以下のソフトウェアをインストールします。 • Presto!® PageManager® TWAIN/WIA準拠の画像管理用ソフトウェアです。 • ControlCenter3 スキャナ機能や PC ファクス機能などさまざまな機能の入り口となるソフトウェアです。 • TrueTypeフォント ブラザーオリジナルの日本語フォントです。インストール時に［カスタム］を選ぶと、インストールできます。
その他ソフトウェアとユーティリティ
各種ドライバ、ソフトウェアを追加インストールできます。 • BRAdmin Light ネットワークプリンタなどネットワーク上で使用する機器を管理できるソフトウェアです。 • オートマチックドライバインストーラ ネットワーク環境で本製品を使う場合に便利なツールです。 • NewSoft® Presto!® Image Folio 画像を編集できるソフトウェアです。

画面で見るマニュアル
以下のユーザーズガイドがパソコン上で閲覧できます。 • 画面で見るマニュアル（HTML形式）
オンラインユーザー登録
オンラインでユーザー登録を行います。
サービスとサポート
• ブラザーホームページ ブラザーのホームページへリンクします。 • ソリューションセンター インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。 • ブラザーダイレクトクラブ トナーカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。 • 消耗品情報 インターネット経由で消耗品の購入に関する情報を確認できます。
修復インストール
ドライバのインストールがうまくいかなかった場合にクリックすると、ドライバを自動的に修復します。（※USBケーブルで接続している場合に使用できます。）

2 ドライバとソフトウェアをインストールする(USB)

USBケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

1 **本製品の電源スイッチをOFFにする**

注意

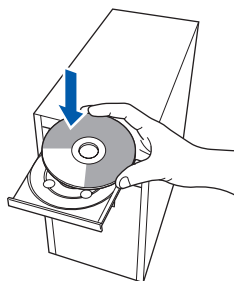
USBケーブルが接続されている場合は、USBケーブルを本製品から外してください。

2 **パソコンの電源を入れる**

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

3 **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする**

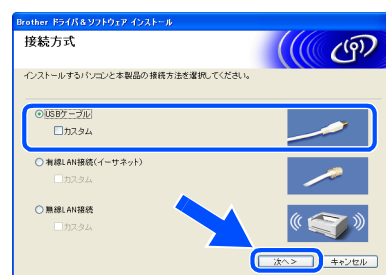
メイン画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

4 **［インストール］をクリックする**

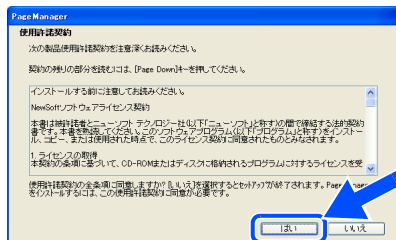
ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

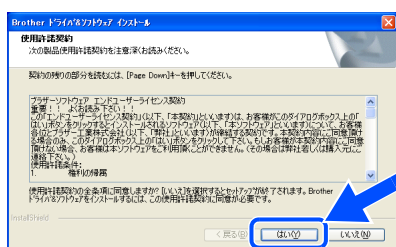
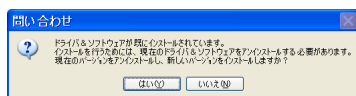
- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

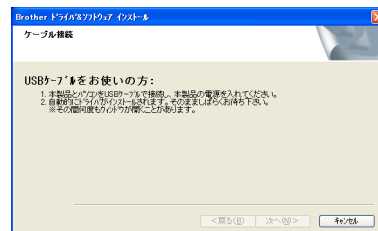
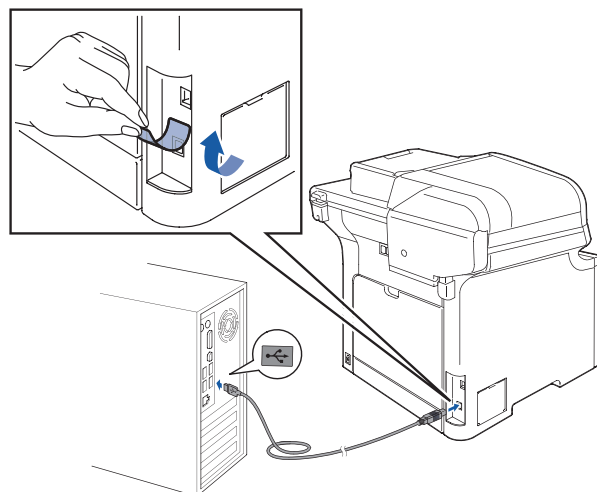
5 **［USBケーブル］を選択し、［次へ］をクリックする**

補足

BR-Script3プリンタドライバをインストールする場合は、［カスタム］を選択し［次へ］をクリックしてください。機能の選択画面が表示されたら、［BR-Script3プリンタドライバ］チェックボックスを選択し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

次ページへ続く

6 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

- Presto!® PageManager® がインストールされます。
- Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

7 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする

- ウインドウが何度も開いたり、ディスプレイが何度もついたり消えたりする場合もありますが、そのまましばらくお待ちください。
- 以下の画面が表示されたときは、[はい] をクリックして古いバージョンのドライバとソフトウェアをアンインストールしてください。

- Windows Vista® で次の画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックして、[インストール] を選択します。

8 ケーブル接続画面が表示される

9 USB ケーブル接続端子のラベルをはがし、USBケーブルをパソコン、本製品の順に接続する

補足

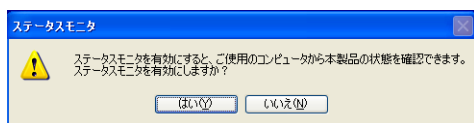
- ●USBケーブルは、同梱されていません。
- ●USB ケーブルは、長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- ●キーボードの USB ポートおよび電源のない USB ハブには接続しないでください。

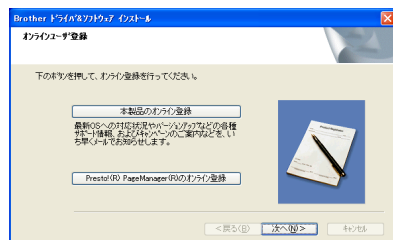
10 本製品の電源スイッチをONにする

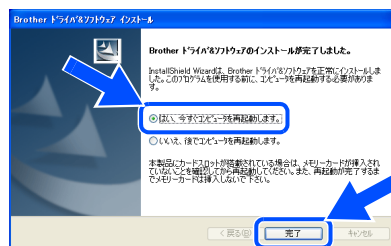
電源スイッチをONにすると、インストールが継続されます。
インストール画面が表示されるまでに数秒かかります。

補足

自動的にインストールが再開されます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

11 ステータスモニタを有効にする場合は、［はい］をクリックする

12 ユーザー登録をする

［本製品のオンライン登録］や［Presto!(R) PageManager(R)のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

13 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

14 ［はい］を選択して［完了］をクリックする

OK! ［ドライバ & ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

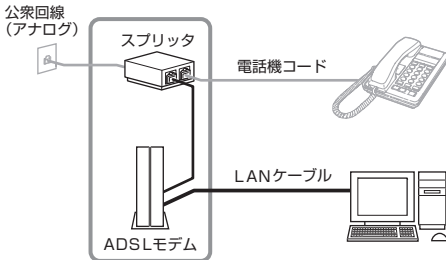
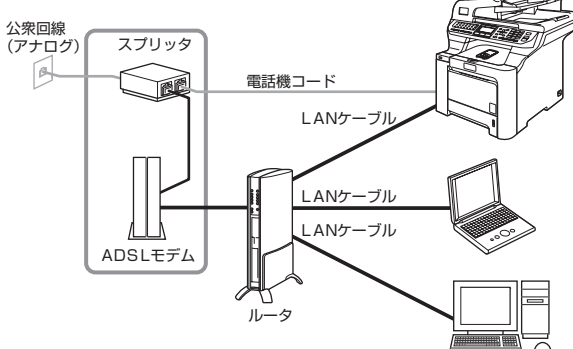
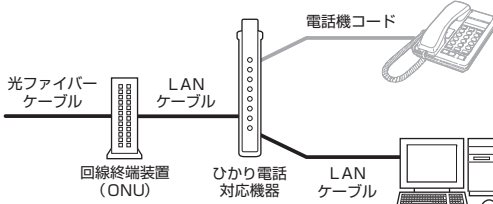
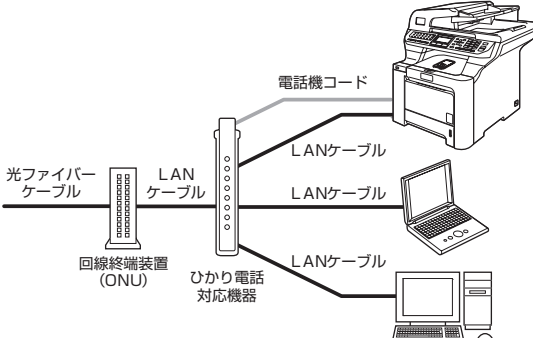
- 再起動後、インストールに失敗したときは、画面にインストール失敗のメッセージが表示されます。表示されたときは、画面に表示されている手順に従うか、または［スタート］－［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXX※］－［オンライン Q&A］を参照してください。
  ※XXXXはモデル名です。
- **「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内**
  XML Paper Specificationプリンタドライバは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適したプリンタドライバです。
  ブラザーソリューションセンターからダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）

2 ドライバとソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）

ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項

ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能や、Windows® のファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワーク PC ファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。
ファイアウォール設定について詳しくは、「ファイアウォールの設定」P.37 を参照してください。

補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアのマニュアル、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

ネットワーク環境で複数のパソコンから使用する場合

ADSLや光ファイバー、ケーブルテレビ（CATV）などのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

<table>
<tr><th>本製品を接続する前</th><th>本製品を接続した後</th></tr>
<tr><td colspan="2">●一般的なADSL環境での接続例</td></tr>
<tr><td>

※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。</td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">●光ファイバー環境での接続例（NTT東日本、KDDIひかりOne、Yahoo!BBフォン光など）</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●光ファイバー環境での接続例（NTT西日本）	
●一般的なCATV環境での接続例（J:COMなどのケーブルテレビ局）	

補足

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

- スプリッタ
  電話（音声）信号とADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、パソコン、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）やFAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ルータまたはハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

※ご利用の電話会社により、接続する機器の名称が異なることがあります。

☞次ページへ続く

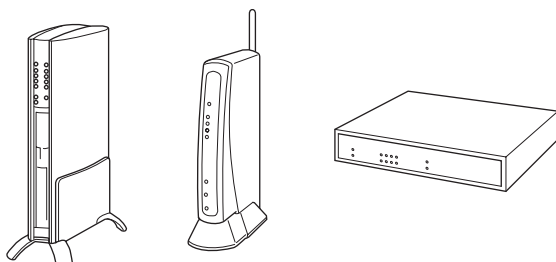
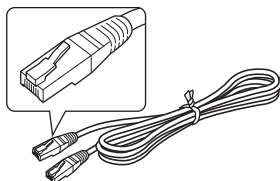
ネットワーク環境に必要なものの準備

1 ルータ

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭･オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。

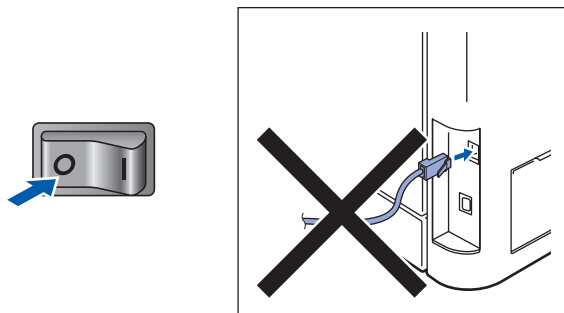
2 LANケーブル

本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXストレートケーブルをお使いください。

補足

- 本製品を無線LANで使用する場合、無線LANアクセスポイント（無線LANルータ）または無線LAN対応のパソコンが必要です。
- ルータの導入・接続方法については、お使いのルータのユーザーズガイドをご覧ください。
- モデム・光終端装置（ONU）などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。
- 光ファイバーをご利用の場合は、ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

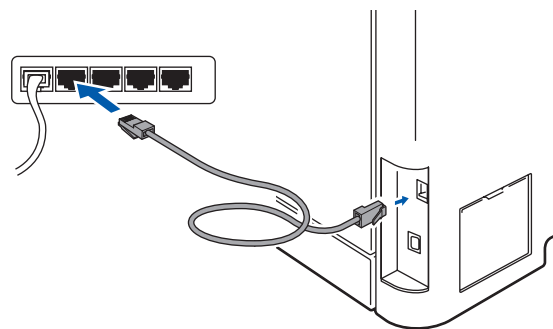
ドライバのインストール

インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

1 本製品の電源スイッチをOFFにする

注意

LANケーブルが接続されている場合は、LANケーブルを本製品から外してください。

2 本製品とルータをLANケーブルで接続する

補足

LANケーブルは、同梱されていません。

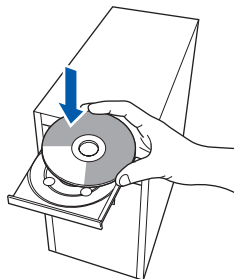
3 本製品の電源スイッチをONにする

4 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

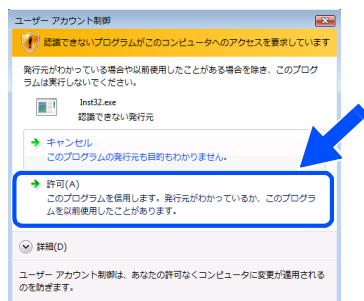
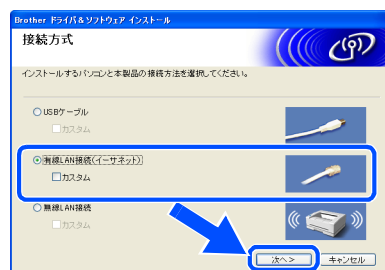
5 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

メイン画面が表示されます。

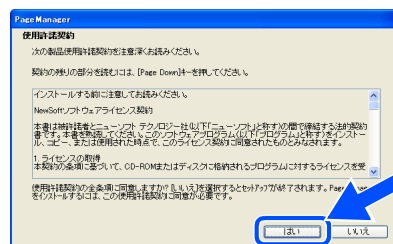
補足

画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

6 ［インストール］をクリックする

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

7 ［有線LAN接続（イーサネット）］を選択し、［次へ］をクリックする

補足

BR-Script3プリンタドライバをインストールする場合は、［カスタム］を選択し［次へ］をクリックしてください。機能の選択画面が表示されたら、［BR-Script3プリンタドライバ］チェックボックスを選択し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

8 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

- Presto!® PageManager® がインストールされます。
- Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

9 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする

- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

次ページへ続く

10 ネットワーク上に複数のMFC-9640CWまたはMFC-9840CDWが接続されている場合は、リストから使用する機器を選択する

- ネットワーク上に 1 台しか接続されていない場合はこの画面は表示されません。次の手順へ進んでください。

- 画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、［IPアドレスの設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。

補足

Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］を選択し、インストールを完了させてください。

注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

■それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■パソコンにインストールされているセキュリティソフトのファイアウォールの設定が有効になっている場合も、上記の画面が表示されます。ファイアウォールの設定を確認し、無効にしてください。
詳しくは「ファイアウォールの設定」P.37 を参照してください。

11 ステータスモニタを有効にする場合は、［はい］をクリックする

12 ユーザー登録をする

［本製品のオンライン登録］や［Presto!(R) PageManager(R)のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

13 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

14 ［はい］を選択して［完了］をクリックする

OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

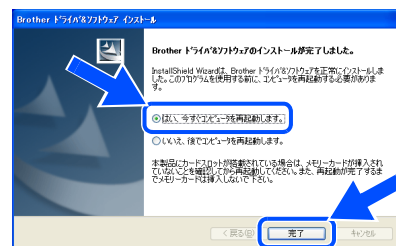
XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適したプリンタドライバです。

ブラザーソリューションセンターからダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）

2ドライバとソフトウェアをインストールする（無線LAN接続）

本製品と無線 LAN アクセスポイントを無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線LAN環境で使用する場合の注意点

●設置に関する注意

- 本製品を無線LANアクセスポイント（または無線LAN対応のパソコン）の近くに設置してください。
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線LANアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

●通信に関する注意

環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

注意

■Macintosh®とアクセスポイントの接続、設定については、お使いのアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

■無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.62 を参照してください。

■本製品にメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。

■USBケーブルが接続されている場合は、USBケーブルを本製品から外してください。

■本製品では、有線LANと無線LANを同時に使用できません。

■アドホックモードで接続する場合は、接続先のパソコンの設定もアドホックモードに設定してください。

■無線 LAN の設定について詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」の「ネットワーク設定」を参照してください。

無線LANに関する用語

●SSIDとは

- 接続先のネットワークを識別するための ID です。接続先の SSID を本製品に設定することによって、無線での通信が行えます。
- 無線 LAN アクセスポイントの設定によっては、セキュリティの強化のために、SSID を非表示にする機能が有効になっている場合があります。（SSIDの隠ぺい）

●認証方式と暗号化方式について

無線 LAN を使用する場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されるのを防ぐために、セキュリティの設定が必要です。セキュリティに関する設定として、「認証方式」と「暗号化方式」があります。本製品は、以下の方式をサポートしています。

- 認証方式
  オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK/WPA2-PSK、LEAP
- 暗号化方式
  WEP、TKIP、AES、CKIP

次ページへ続く

- インフラストラクチャ通信
  インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線LANアクセスポイントを経由して受け取ります。
- アドホック通信
  アドホック通信のネットワーク（ピアーツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブのデータを送信するコンピュータから直接受け取ります。

補足

本書では、インフラストラクチャモードで無線LANを設定する方法を説明しています。本製品をその他の環境で設定する場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

ファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意点

ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能や、Windows® のファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。詳しくはP.24を参照してください。

AOSS™機能を使って無線LANの設定をする

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™に対応している場合は、かんたんに無線LANの設定を行うことができます。ご使用の無線LANアクセスポイントに以下のロゴが付いているかご確認ください。AOSS™に対応していない場合は、次ページの「操作パネルから無線LANの設定をする」へ進んでください。

注意

無線LANの設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品のLAN設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.62 を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする

2 本製品と無線LANアクセスポイントを5m以内に配置する

3 無線LANアクセスポイントのAOSS™ボタンを押す

詳しい設定方法は、お使いの無線LANアクセスポイントのマニュアルを参照してください。

4 メニュー 7 2 3 を押す

```
72.ﾑｾﾝLAN
  ﾑｾﾝLAN ﾕｳｺｳ?
▲    On
▼    Off
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 ▲または▼で「On」を選択して OK を押す

- AOSS™ 機能を使って自動接続が開始されます。
- AOSS™ 設定中は、最長で2分程度パネル操作ができなくなります。

```
72.ﾑｾﾝLAN
  3.AOSS

AOSS ｾｯﾃｲﾁｭｳ
```

- 自動接続が終わると、液晶ディスプレイに［ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ］と表示されます。

```
72.ﾑｾﾝLAN
  3.AOSS

ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ
```

補足

- AOSS 作動中は、［AOSS ﾘﾄﾗｲ ｼﾏｽｶ？］と表示され、［ﾊｲ］を選択すると自動接続が開始されます。
- 自動接続に失敗した場合、［ｾﾂｿﾞｸ ｼｯﾊﾟｲ］または［ｾｷｭﾘﾃｨｴﾗｰ］と表示されます。
  ［ｾﾂｿﾞｸ ｼｯﾊﾟｲ］の場合、アクセスポイントと本製品の電源をいったんOffし、再度Onしてからお試しください。
  ［ｾｷｭﾘﾃｨｴﾗｰ］は、AOSSが動作しているアクセスポイントが複数ある場合、またはAOSSで接続しようとしている製品や機器が複数ある場合に表示されます。他にAOSSで動作しているアクセスポイントまたは接続しようとしている製品がないことを確認してから、アクセスポイントと本製品の電源をいったんOffし、再度Onしてからお試しください。

OK! **無線LANの設定は完了しました。必要に応じて引き続き［ドライバ&ソフトウェア］のインストールを行ってください。** P.35

操作パネルから無線LANの設定をする

補足

●「インターネット接続ファイアウォール」や「Windows ファイアウォール」機能をご使用の場合は、無効にしてからインストールしてください。詳しくは、P.24 を参照してください。

●本製品の MAC アドレスなどを調べるときは、LAN 設定内容リストを印刷してください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.136 を参照してください。

1 ご使用の無線LANアクセスポイントの設定を書き留める

アドホックモードの場合は、接続するコンピュータの設定を書き留めてください。

SSID（必須）	
WEPキー＊1、2	
PSK(ネットワーク）キー＊2	
ユーザーID＊2、3 (LEAP)	
パスワード＊2、4 (LEAP)	

＊1：WEPキーは次の設定に従って、64bitまたは128bitキーに対応する値をASCII文字か16進数フォーマットで記入します。

●64（40）bit ASCII文字：半角5文字で入力します。
例）“Hello”（大文字と小文字は区別されます。）

●64（40）bit 16進数：10桁の16進数で半角入力します。
例）“71f2234aba”

●128（104）bit ASCII文字：半角13文字で入力します。
例）“Wirelesscomms”（大文字と小文字は区別されます。）

●128（104）bit 16進数：26桁の16進数で半角入力します。
例）“71f2234ab56cd709e5412aa3ba”

＊2：設定されていない場合は記入する必要はありません。

＊3：ユーザー IDを64文字以内で入力します。

＊4：パスワードを32文字以内で入力します。

2 本製品の電源スイッチをONにする

3 メニュー 7 2 2 を押す

無線 LAN の設定ウィザードが起動し、本製品から接続できる無線ネットワークが自動的に検索されます。

```
72.ﾑｾﾝLAN
  2.ｾﾂｿﾞｸｳｨｻﾞｰﾄﾞ

SSID ｹﾝｻｸ ﾁｭｳ
```

4 ▲または▼でSSIDを選択し、OKを押す

手順1で書き留めたSSIDを選択してください。

補足

- 検索された無線LANのSSIDが、液晶ディスプレイに表示されるまでしばらくお待ちください。
- 接続先のSSIDの隠ぺい機能が有効に設定されて、SSIDが表示されない場合は、以下の手順で設定してください。
  1. ▲または▼で［〈New SSID〉］を選択し、OKを押す
  2. 操作パネルのダイヤルボタンからSSIDを入力し、OKを押す

  3. ▲または▼で［ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ］を選択し、OKを押す
- 詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」を参照してください。

5 認証方式と暗号化方式を設定する

認証方式と暗号化方式については、P.29を参照してください。

●オープンシステム認証で暗号化なしの場合

1. ▲または▼で［オープンシステム　ニンショウ］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［ナシ］を選択し、OKを押す
3. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●オープンシステム認証で暗号化方式がWEPの場合

1. ▲または▼で［オープンシステム　ニンショウ］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［WEP］を選択し、OKを押す
3. ▲または▼で使用する　WEP　キーを選択し、OKを押す

4. 手順1で書き留めたWEPキーを入力し、OKを押す
5. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●共有キー認証で暗号化方式がWEPの場合

1. ▲または▼で［キョウユウキー　ニンショウ］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で使用する　WEP　キーを選択し、OKを押す

3. 手順1で書き留めたWEPキーを入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式がTKIPの場合

1. ▲または▼で［WPA/WPA2-PSK］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［TKIP］を選択し、OKを押す
3. 手順1で書き留めたPSK（事前共有キー）を入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

次ページへ続く

●共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式がAESの場合

1. ▲または▼で［WPA/WPA2-PSK］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［AES］を選択し、OKを押す
3. 手順1で書き留めたPSK（事前共有キー）を入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●LEAPの場合

1. ▲または▼で［LEAP］を選択し、OKを押す
2. 手順1で書き留めたユーザーIDを入力し、OKを押す
3. 手順1で書き留めたパスワードを入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

補足

●キー入力については、P.16を参照してください。

●入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バックを押して削除後、正しい文字を入力します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力しなおしてください。

6 正常に接続できたか確認する

• 無線LANアクセスポイントから自動的に本製品にIPアドレスが割り当てられます。
• 液晶ディスプレイに［ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ］と表示されます。

補足

●接続できなかった場合は、手順2～6をもう一度お試しください。

●ご使用の無線LANアクセスポイントがDHCPを使用していない場合は、手動でIPアドレスの設定を行う必要があります。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」を参照してください。

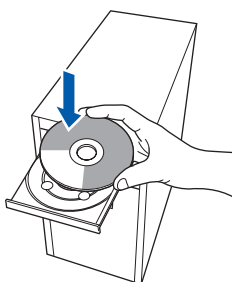
OK! **無線LANの設定は完了しました。必要に応じて引き続き［ドライバ&ソフトウェア］のインストールを行ってください。** P.35

ドライバのインストール

1 **パソコンの電源を入れる**

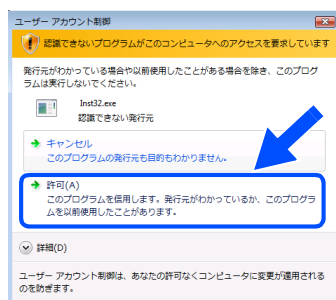
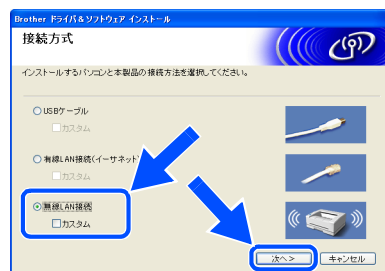
アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

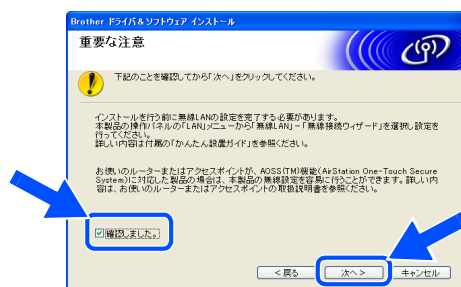
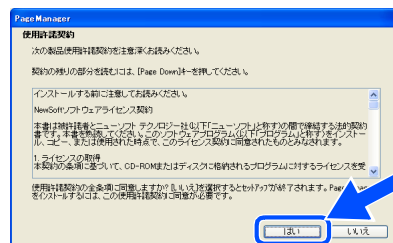
2 **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする**

メイン画面が表示されます。

補足
画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

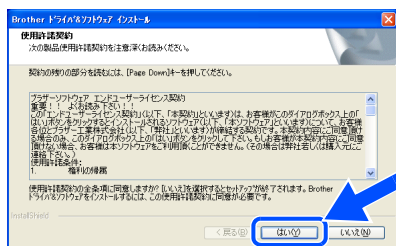
3 **［インストール］をクリックする**

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

4 **［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする**

補足
BR-Script3プリンタドライバをインストールする場合は、［カスタム］を選択し［次へ］をクリックしてください。機能の選択画面が表示されたら、［BR-Script3プリンタドライバ］チェックボックスを選択し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

5 **［確認しました。］をチェックし、［次へ］をクリックする**

6 **Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする**

- Presto!® PageManager® がインストールされます。
- Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

☞次ページへ続く

7 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする

- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

8 ネットワーク上に複数の MFC-9640CW またはMFC-9840CDWが接続されている場合は、リストから使用する機器を選択する

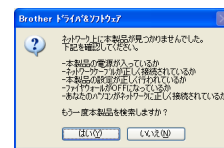
- ネットワーク上に 1 台しか接続されていない場合はこの画面は表示されません。次の手順へ進んでください。

- 画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、[IPアドレスの設定] をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。

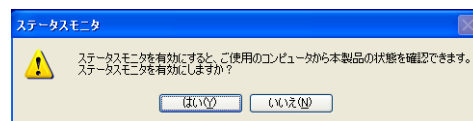
補足

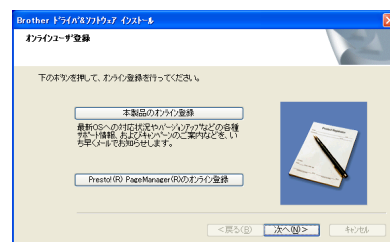
Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして [インストール] を選択し、インストールを完了させてください。

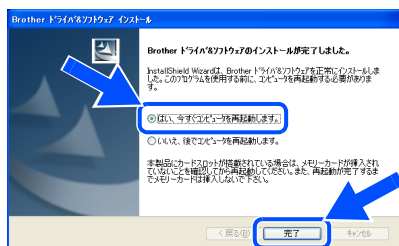
注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、[はい] をクリックして再度検索を行います。

■それでも検索されない場合は、[いいえ] をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■パソコンにインストールされているセキュリティソフトのファイアウォールの設定が有効になっている場合も、上記の画面が表示されます。ファイアウォールの設定を確認し、無効にしてください。
詳しくは「ファイアウォールの設定」P.37 を参照してください。

9 ステータスモニタを有効にする場合は、[はい] をクリックする

10 ユーザー登録をする

[本製品のオンライン登録] や [Presto!(R) PageManager(R)のオンライン登録] をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

11 ユーザー登録が終わったら [次へ] をクリックする

12 ［はい］を選択して［完了］をクリックする

OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内
XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適したプリンタドライバです。

ブラザーソリューションセンターからダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）

ファイアウォールの設定

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワークPCファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、以下の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

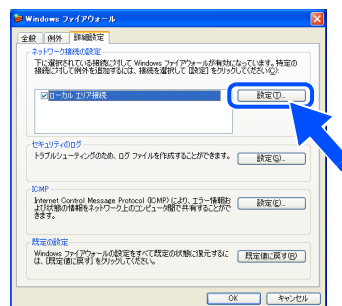
Windows® XP(ServicePack2)/ XP Professional x64 Editionの パーソナルファイアウォールの設定

1 コントロールパネルから、［ネットワークとインターネット接続］－［Windows ファイアウォール］をクリックする

Windowsファイアウォールダイアログボックスが表示されます。

2 ［全般］タブで［有効］が選択されていることを確認する

3 ［詳細設定］タブをクリックする

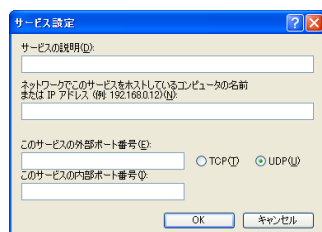
4 「ネットワーク接続の設定」の［設定］をクリックする

5 「サービス」の［追加］をクリックする

サービス設定ダイアログボックスが表示されます。

次ページへ続く

■ ネットワークスキャン機能を使用するための設定

6 以下の情報を入力し、[OK] をクリックする

- サービスの説明
  任意の名前を入力します。
  (例：Brother NetScan)
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIP アドレス
  本製品に割り当てたIP アドレスを入力します。
- このサービスの外部ポート番号／
  このサービスの内部ポート番号
  2 箇所とも、「54925」を入力し、プロトコル（TCP/UDP）は、「UDP」を選択します。

■ ネットワークPCファクス機能を使用するための設定

7 もう一度、[追加] をクリックする

8 以下の情報を入力し、[OK] をクリックする

- サービスの説明
  任意の名前を入力します。
  (例：Brother PC-FAX RX)
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIP アドレス
  本製品に割り当てたIP アドレスを入力します。
- このサービスの外部ポート番号／
  このサービスの内部ポート番号
  2 箇所とも、「54926」を入力し、プロトコル（TCP/UDP）は、「UDP」を選択します。

9 追加した設定にチェックが入っていることを確認して、[OK]をクリックする

1 つ前のダイアログボックスに戻ります。

10 [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じる

設定が有効になります。

補足

上記を設定しても、パソコンから本製品に通信ができない場合は、手順7～10と同様の操作で、以下のサービスを追加してください。

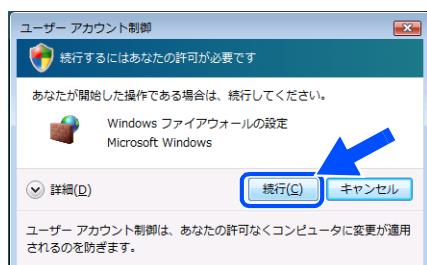
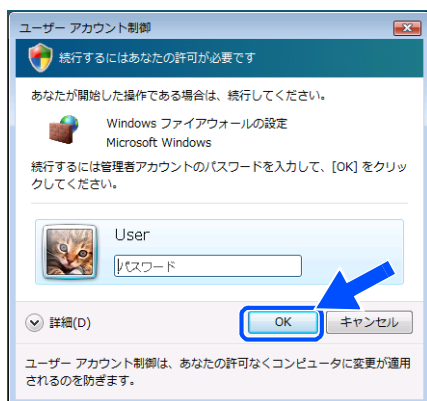
- サービスの説明：任意の名前を入力
  (例：NetBIOS)
- ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIP アドレス：本製品に割り当てたIP アドレス
- このサービスの外部ポート番号／このサービスの内部ポート番号：2 箇所とも「137」を入力し、プロトコル（TCP/UDP）は、「UDP」を選択

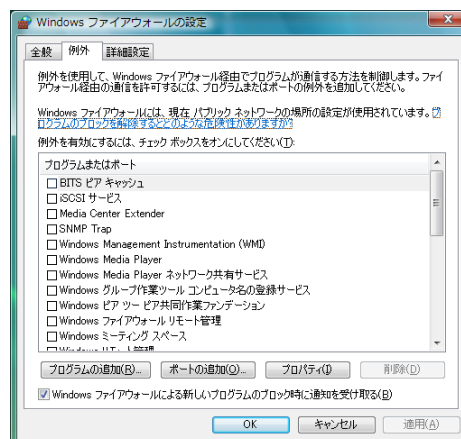
Windows Vista® の Windows ファイアウォールの設定

1 コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット] − [Windows ファイアウォール] をクリックする

2 [設定の変更] をクリックする

3 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら次のように操作する

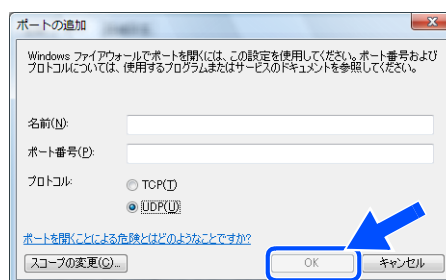
- アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンしている場合は、[続行] をクリックする

- 一般ユーザーとしてログオンしている場合は、パスワードを入力して [OK] をクリックする

4 [全般] タブで Windows ファイアウォールが「有効（推奨）」に設定されていることを確認する

5 [例外] タブをクリックする

6 [ポートの追加] をクリックする

ポートの追加ダイアログボックスが表示されます。

■ネットワークスキャン機能を使用するための設定

7 以下の情報を入力し、[OK] をクリックする

- 名前
  任意の名前を入力します。
  （例：Brother Scanner）
- ポート番号
  「54925」を入力します。
- プロトコル
  「UDP」を選択します。

■ネットワークPCファクス機能を使用するための設定

8 もう一度［ポートの追加］をクリックする

9 以下の情報を入力し、［OK］をクリックする

- 名前
  任意の名前を入力します。
  （例：Brother PC-FAX RX）
- ポート番号
  「54926」を入力します。
- プロトコル
  「UDP」を選択します。

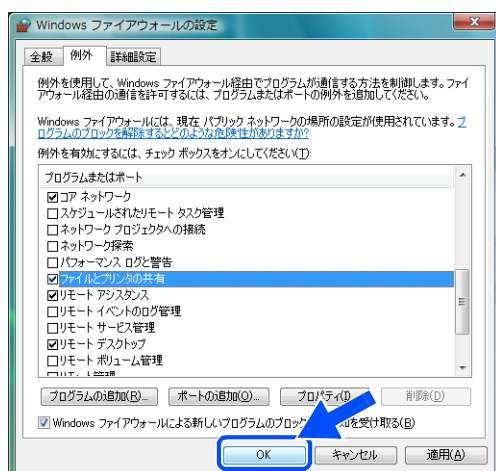
10 追加した設定にチェックが入っていることを確認して、[OK]をクリックする

1つ前のダイアログボックスに戻ります。

11 ［OK］をクリックして、ダイアログボックスを閉じる

設定が有効になります。

補足

上記を設定しても、パソコンから本製品に通信ができない場合は手順5の［例外］タブの画面で「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。通信に問題ない場合にはこの操作は必要ありません。

STEP2

パソコンに接続する(Macintosh®)

本製品をMacintosh®に接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
Windows®をお使いの場合は、「STEP2 パソコンに接続する(Windows®)」P.19を参照してください。

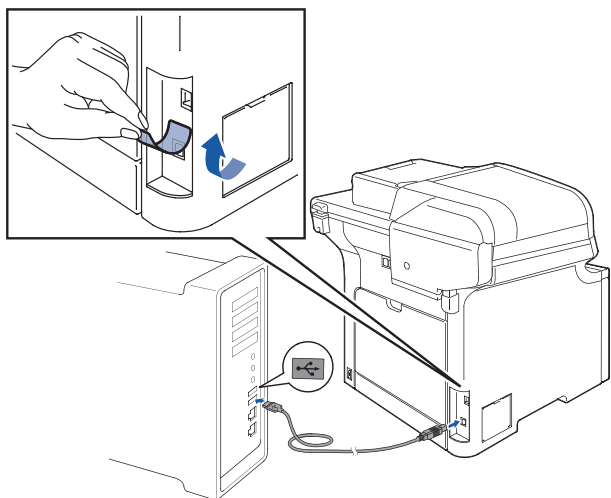
1 インストールの前に

CD-ROMの内容

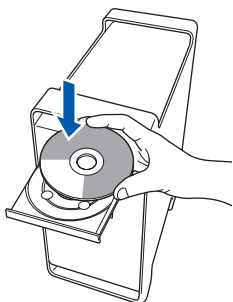
Start Here OS X
本製品のプリンタやスキャナ、PCファクス、リモートセットアップ機能を使用するために必要なドライバをインストールします。
Presto! PageManager
TWAIN準拠のスキャナソフトウェアをインストールします。
Documentation
以下のユーザーズガイドがMacintosh®上で閲覧できます。 • 画面で見るマニュアル（HTML形式）
Brother Solutions Center
インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
On-Line Registration
オンラインでユーザー登録を行います。
Utilities
無線LAN設定ウィザードが収録されています。
Fonts
ブラザーオリジナルの日本語フォントが収録されています。

2 ドライバとソフトウェアをインストールする(USB)

USBケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。

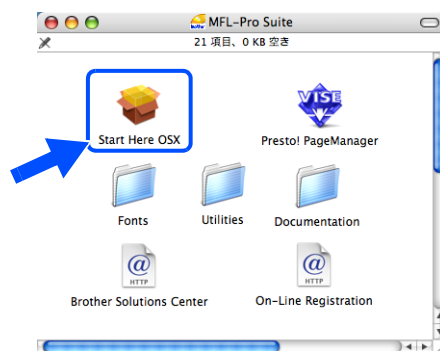
1 USBケーブル接続端子のラベルをはがし、USBケーブルをMacintosh®、本製品の順に接続する

補足

- ●USBケーブルは、同梱されていません。
- ●USBケーブルは、長さが2.0m以下のものをお使いください。
- ●キーボードのUSBポートおよび電源のないUSBハブには接続しないでください。

2 Macintosh®の電源を入れる

3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

4 [Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

補足

PSドライバのインストールは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

5 [USBケーブル] を選択し、[次へ] をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

インストールが終わると、Macintosh®の再起動を指示する画面が表示されます。
［再起動］をクリックしてください。

6 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する

☞次ページへ続く

接続・設置する

パソコンに接続する

Windows®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

Macintosh®

USB接続

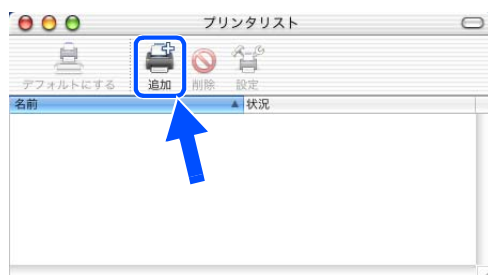
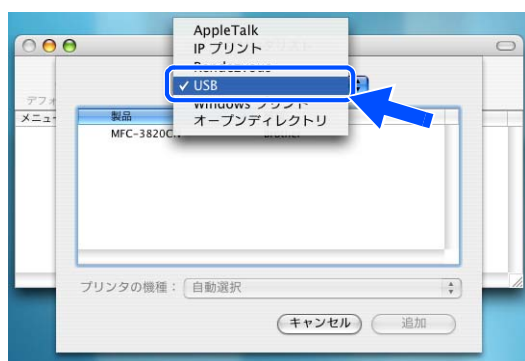
LAN接続

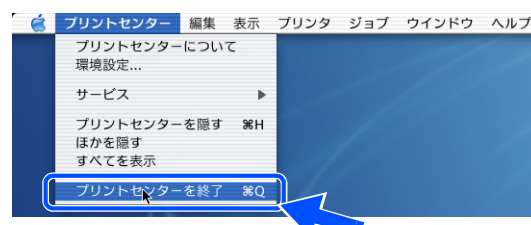
無線LAN接続

付録

7　確認画面が表示されたら［OK］をクリックする

OK! Mac OSX 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は手順 8 に進んでください。
Mac OS X 10.3 以上の場合は、MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。手順 12 に進んでください。

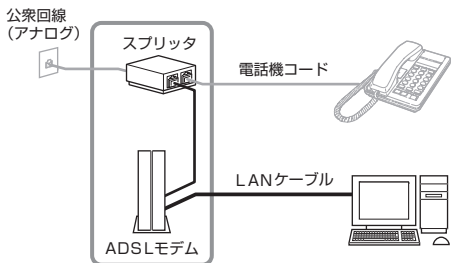
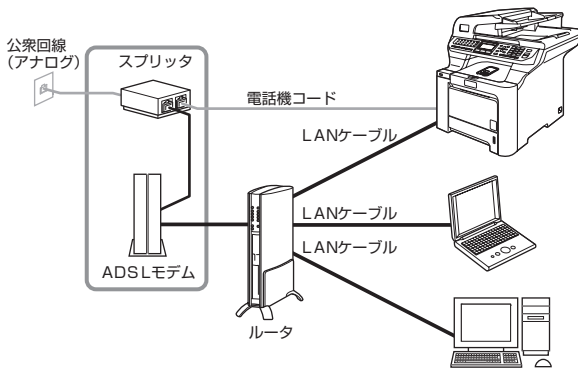
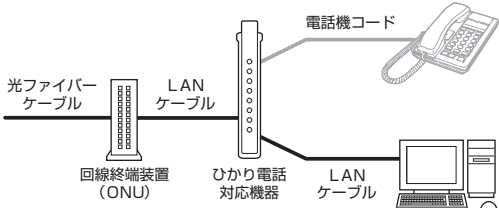
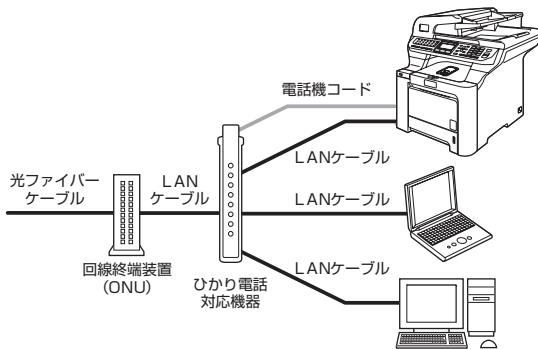
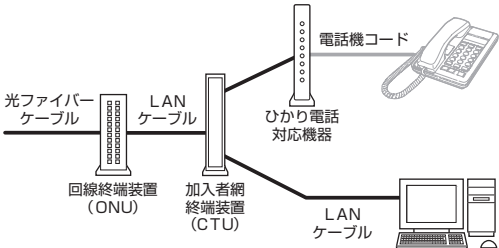
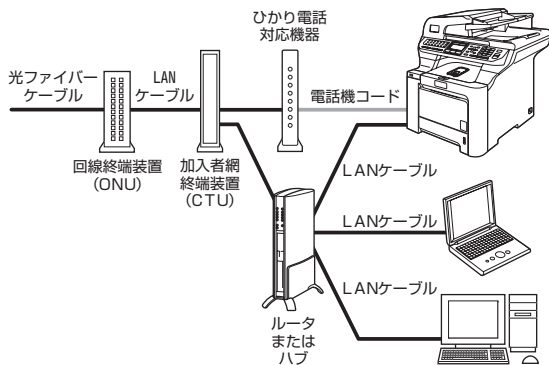
8　［追加］をクリックする

9　［USB］を選択する

10「MFC-9640CW」または「MFC-9840CDW」を選択し、［追加］をクリックする

11［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択する

OK! MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。続いて手順 12 に進んでください。

12［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

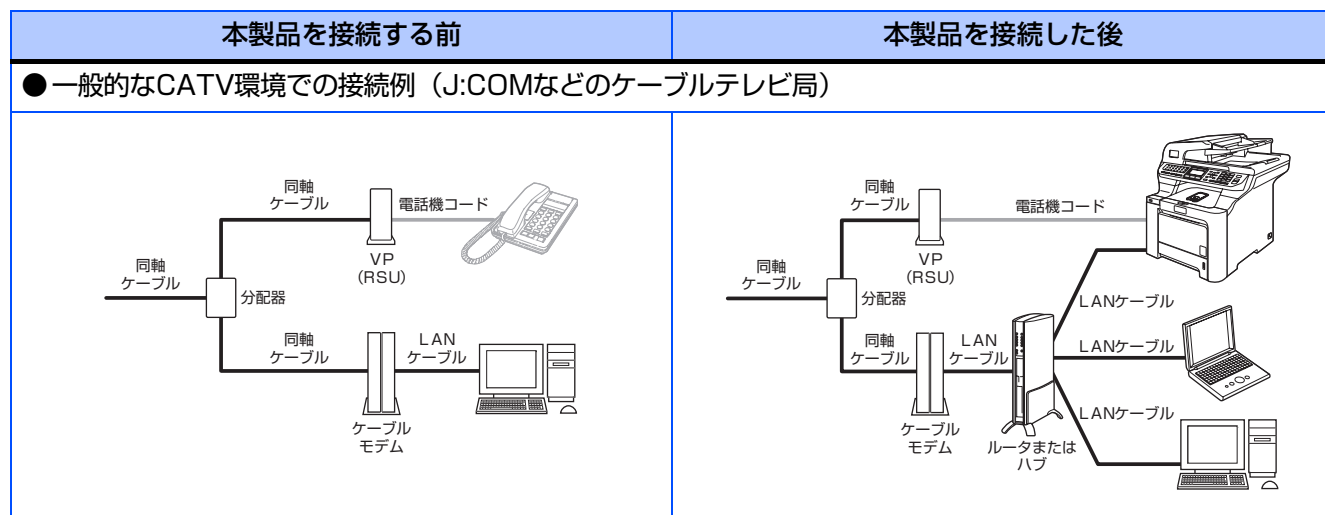
Presto!® PageManager®がインストールされます。

Presto!® PageManager®をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! インストールが完了しました。

2ドライバとソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）

ネットワーク環境で複数のパソコンから使用する場合

ADSLや光ファイバー、ケーブルテレビ（CATV）などのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●一般的なADSL環境での接続例	
 ※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。	
●光ファイバー環境での接続例（NTT東日本、KDDIひかりOne、Yahoo!BBフォン光など）	
●光ファイバー環境での接続例（NTT西日本）	

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●一般的なCATV環境での接続例（J:COMなどのケーブルテレビ局）	

補足

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

- スプリッタ
  電話（音声）信号とADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- CTU（加入者網終端装置）
  NTT 西日本のひかり回線を終端し、通信に必要な情報を設定する装置です。ルータ、ハブ、パソコン、ひかり電話対応機器などはこの装置に接続します。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）やFAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ルータまたはハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

※ご利用の電話会社により、接続する機器の名称が異なることがあります。

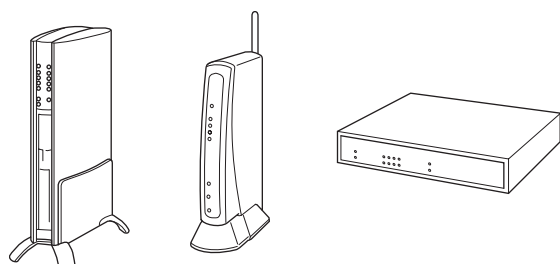
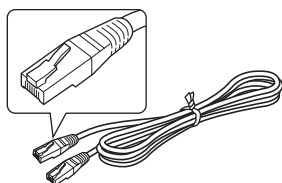
ネットワーク環境に必要なものの準備

1 ルータ

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭･オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。

2 LANケーブル

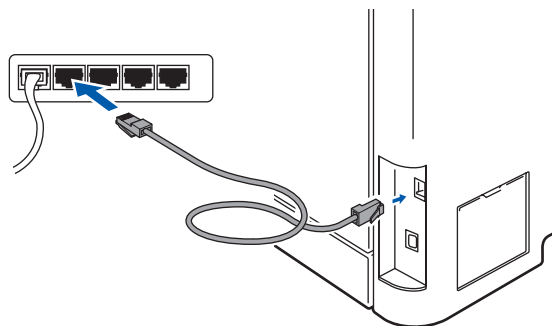
本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXストレートケーブルをお使いください。

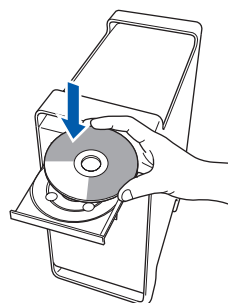
補足

- 本製品を無線 LAN で使用する場合、無線 LAN アクセスポイント（無線LANルータ）または無線LAN対応のMacintosh®が必要です。
- ルータの導入・接続方法については、お使いのルータのユーザーズガイドをご覧ください。
- モデム・光終端装置（ONU）などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。
- 光ファイバーをご利用の場合は、ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

ドライバのインストール

インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。

1 本製品とルータをLANケーブルで接続する

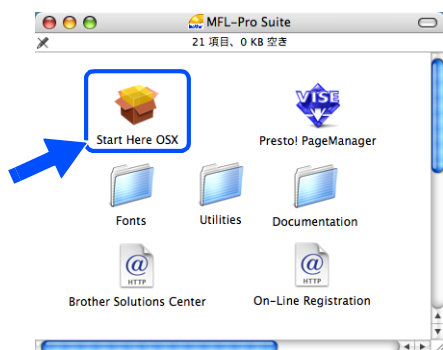
補足

LANケーブルは、同梱されていません。

2 Macintosh®の電源を入れる

3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

☞次ページへ続く

4 ［Start Here OSX］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

補足

PSドライバのインストールは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

5 ［有線LAN接続（イーサネット）］を選択し、［次へ］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

インストールが終わると、Macintosh®の再起動を指示する画面が表示されます。
［再起動］をクリックしてください。

6 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する

7 ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、本製品を選んで、［OK］をクリックする

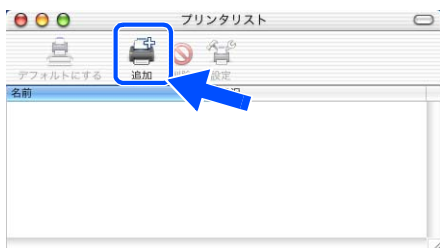
補足

- ネットワーク上で本製品が認識されているときは、リストから選択して［OK］をクリックしてください。ネットワーク上に対象となる本製品が1台しかない場合は、ウィンドウは表示されず、自動的に本製品が選択された状態になります。手順9からインストール作業を続けてください。
- 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックして表示名を入力してください。

- 「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
- 表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

- スキャンキー用のパスワードについて詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

8 確認画面で［OK］をクリックする

OK! Mac OSX 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 9 に進んでください。
Mac OS X 10.3 以上の場合は、MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。手順 13 に進んでください。

9 ［追加］をクリックする

10 ［Rendezvous］を選択する

11 「MFC-9640CW」または「MFC-9840CDW」を選択し、［追加］をクリックする

12 ［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択する

OK! MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。続いて手順 13 に進んでください。

13 ［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto!® PageManager®がインストールされます。

Presto!® PageManager®をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! インストールが完了しました。

接続・設置する

パソコンに接続する

Windows®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

Macintosh®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

付録

2 ドライバとソフトウェアをインストールする（無線LAN接続）

本製品と無線LANアクセスポイントを無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線LAN環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意

- 本製品を無線LANアクセスポイント（または無線LAN対応のMacintosh®）の近くに設置してください。
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線LANアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意

環境によっては、有線LAN接続やUSB接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

注意

■Macintosh®とアクセスポイントの接続、設定については、お使いのアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

■無線LANの設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品のLAN設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.62 を参照してください。

■本製品にメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが差し込まれていないことを確認してください。

■USBケーブルが接続されている場合は、USBケーブルを本製品から外してください。

■本製品では、有線LANと無線LANを同時に使用できません。

■アドホックモードで接続する場合は、接続先のパソコンの設定もアドホックモードに設定してください。

■無線LANの設定について詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」を参照してください。

無線LANに関する用語

● SSIDとは

- 接続先のネットワークを識別するためのIDです。接続先のSSIDを本製品に設定することによって、無線での通信が行えます。
- 無線LANアクセスポイントの設定によっては、セキュリティの強化のために、SSIDを非表示にする機能が有効になっている場合があります。（SSIDの隠ぺい）

● 認証方式と暗号化方式について

無線LANを使用する場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されるのを防ぐために、セキュリティの設定が必要です。セキュリティに関する設定として、「認証方式」と「暗号化方式」があります。本製品は、以下の方式をサポートしています。

- 認証方式
  オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK/WPA2-PSK、LEAP
- 暗号化方式
  WEP、TKIP、AES、CKIP
- インフラストラクチャ通信
  インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線LANアクセスポイントが設置されています。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線LANアクセスポイントを経由して受け取ります。

- アドホック通信
  アドホック通信のネットワーク（ピアーツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブのデータを送信するコンピュータから直接受け取ります。

補足

本書では、インフラストラクチャモードで無線LANを設定する方法を説明しています。本製品をその他の環境で設定する場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

AOSS™機能を使って無線LANの設定をする

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™に対応している場合は、かんたんに無線LANの設定を行うことができます。ご使用の無線LANアクセスポイントに以下のロゴが付いているかご確認ください。AOSS™ に対応していない場合は、次ページの「操作パネルから設定する」へ進んでください。

注意

無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.62 を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする

2 本製品と無線LANアクセスポイントを5m以内に配置する

3 無線LANアクセスポイントのAOSS™ボタンを押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

4 メニュー 7 PQRS 2 ABC 3 DEF を押す

```
72.ﾑｾﾝLAN
 ﾑｾﾝLAN ﾕｳｺｳ?
▲    On
▼    Off
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 ▲または▼で「On」を選択して OK を押す

- AOSS™ 機能を使って自動接続が開始されます。
- AOSS™ 設定中は、最長で2分程度パネル操作ができなくなります。

```
72.ﾑｾﾝLAN
 3.AOSS

AOSS ｾｯﾃｲﾁｭｳ
```

- 自動接続が終わると、液晶ディスプレイに［ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ］と表示されます。

```
72.ﾑｾﾝLAN
 3.AOSS

ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ
```

補足

- AOSS™ 作動中は、［AOSS ﾘﾄﾗｲ ｼﾏｽｶ？］と表示され、［ﾊｲ］を選択すると自動接続が開始されます。
- 自動接続に失敗した場合、［ｾﾂｿﾞｸ ｼｯﾊﾟｲ］または［ｾｷｭﾘﾃｨｴﾗｰ］と表示されます。
  ［ｾﾂｿﾞｸ ｼｯﾊﾟｲ］の場合、アクセスポイントと本製品の電源をいったんOffし、再度Onしてからお試しください。
  ［ｾｷｭﾘﾃｨｴﾗｰ］は、AOSS™が動作しているアクセスポイントが複数ある場合、またはAOSSで接続しようとしている製品や機器が複数ある場合に表示されます。他にAOSS™で動作しているアクセスポイントまたは接続しようとしている製品がないことを確認してから、アクセスポイントと本製品の電源をいったんOffし、再度Onしてからお試しください。

OK! **無線LANの設定は完了しました。引き続き［ドライバ&ソフトウェア］のインストールを行ってください。** P.55

操作パネルから無線LANの設定をする

補足

本製品のMACアドレスなどを調べるときは、LAN設定内容リストを印刷してください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.136 を参照してください。

1 ご使用の無線LANアクセスポイントの設定を書き留める

アドホックモードの場合は、接続するコンピュータの設定を書き留めてください。

SSID（必須）	
WEPキー＊1、2	
PSK(ネットワーク）キー＊2	
ユーザーID＊2、3 (LEAP)	
パスワード＊2、4 (LEAP)	

＊1：WEPキーは次の設定に従って、64bitまたは128bitキーに対応する値をASCII文字か16進数フォーマットで記入します。

- ●64（40）bit ASCII文字：半角5文字で入力します。
  例）“Hello”（大文字と小文字は区別されます。）
- ●64（40）bit 16進数：10桁の16進数で半角入力します。
  例）“71f2234aba”
- ●128（104）bit ASCII文字：半角13文字で入力します。
  例）“Wirelesscomms”（大文字と小文字は区別されます。）
- ●128（104）bit 16進数：26桁の16進数で半角入力します。
  例）“71f2234ab56cd709e5412aa3ba”

＊2：設定されていない場合は記入する必要はありません。

＊3：ユーザー IDを64文字以内で入力します。

＊4：パスワードを32文字以内で入力します。

2 本製品の電源スイッチをONにする

3 メニュー 7 PQRS 2 ABC 2 ABC を押す

```
72.ﾑｾﾝLAN
  2.ｾﾂｿﾞｸｳｨｻﾞｰﾄﾞ

SSID ｹﾝｻｸ ﾁｭｳ
```

4 ▲または▼でSSIDを選択し、OKを押す

手順1で書き留めたSSIDを選択してください。

補足

- ●検索された無線LANのSSIDが、液晶ディスプレイに表示されるまでしばらくお待ちください。
- ●接続先のSSIDの隠ぺい機能が有効に設定されていて、SSIDが表示されない場合は、以下の手順で設定してください。

1. ▲または▼で［〈New SSID〉］を選択し、OK を押す

2.操作パネルのダイヤルボタンからSSIDを入力し、OK を押す

```
72.ﾑｾﾝLAN
  SSID:

ﾆｭｳﾘｮｸ&OKﾎﾞﾀﾝ
```

3. ▲または▼で［ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ］を選択し、OKを押す

- ●詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」を参照してください。

次ページへ続く

5 認証方式と暗号化方式を設定する

認証方式と暗号化方式については、P.50を参照してください。

●オープンシステム認証で暗号化なしの場合

1. ▲または▼で［オープンシステム　ニンショウ］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［ナシ］を選択し、OKを押す
3. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●オープンシステム認証で暗号化方式がWEPの場合

1. ▲または▼で［オープンシステム　ニンショウ］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［WEP］を選択し、OKを押す
3. ▲または▼で使用する　WEP　キーを選択し、OKを押す

4. 手順１で書き留めた WEP キーを入力し、OKを押す
5. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●共有キー認証で暗号化方式がWEPの場合

1. ▲または▼で［キョウユウキー　ニンショウ］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で使用する　WEP　キーを選択し、OKを押す

3. 手順１で書き留めた WEP キーを入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式がTKIPの場合

1. ▲または▼で［WPA/WPA2-PSK］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［TKIP］を選択し、OKを押す
3. 手順１で書き留めたPSK（事前共有キー）を入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式がAESの場合

1. ▲または▼で［WPA/WPA2-PSK］を選択し、OKを押す
2. ▲または▼で［AES］を選択し、OKを押す
3. 手順１で書き留めたPSK（事前共有キー）を入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

●LEAPの場合

1. ▲または▼で［LEAP］を選択し、OKを押す
2. 手順1で書き留めたユーザー IDを入力し、OKを押す
3. 手順１で書き留めたパスワードを入力し、OKを押す
4. ▲または▼で［ハイ］を選択し、OKを押す

補足

●キー入力については、P.16を参照してください。

●入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バックを押して削除後、正しい文字を入力します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力しなおしてください。

6 正常に接続できたか確認する

- 無線LANアクセスポイントから自動的に本製品にIPアドレスが割り当てられます。
- 液晶ディスプレイに［ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ］と表示されます。

```
72.ﾑｾﾝLAN

ｾﾂｿﾞｸｾｲｺｳ
```

補足

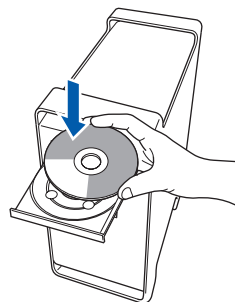
●接続できなかった場合は、手順2〜6をもう一度お試しください。

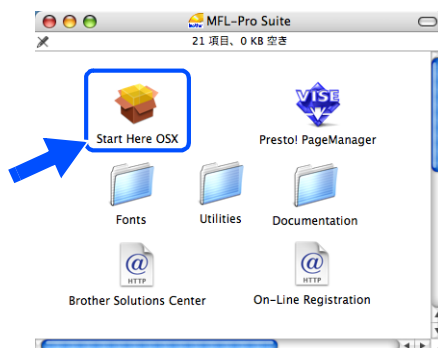
●ご使用の無線LANアクセスポイントがDHCPを使用していない場合は、手動でIPアドレスの設定を行う必要があります。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」の「ネットワーク設定」を参照してください。

OK! **無線LANの設定は完了しました。引き続き［ドライバ&ソフトウェア］のインストールを行ってください。** P.55

ドライバのインストール

1 Macintosh®の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

3 ［Start Here OSX］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。
インストールが終了したら［再起動］をクリックしてください。

補足

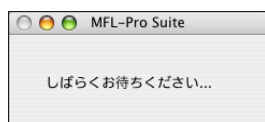
PSドライバのインストールは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

☞次ページへ続く

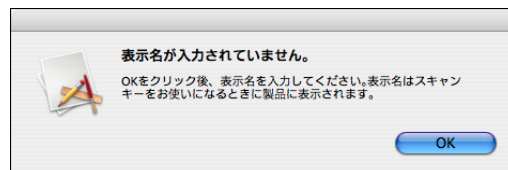
4 ［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする

5 ［確認しました］をチェックして、［次へ］をクリックする

インストールが終わると、Macintosh®の再起動を指示する画面が表示されます。
［再起動］をクリックしてください。

6 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する

7 ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、本製品を選んで、［OK］をクリックする

補足

- 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックして表示名を入力してください。

- 「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
- 表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

- スキャンキー用のパスワードについて詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

8 確認画面で［OK］をクリックする

OK! Mac OSX10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 9 に進んでください。
Mac OS X 10.3 以上の場合は、MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。手順 13 に進んでください。

9 ［追加］をクリックする

10 ［Rendezvous］を選択する

11 「MFC-9640CW」または「MFC-9840CDW」を選択し、［追加］をクリックする

12 ［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択する

OK! MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。続いて手順 13 に進んでください。

13 ［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto!® PageManager®がインストールされます。

補足

Presto!® PageManager®をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

ネットワークユーティリティ

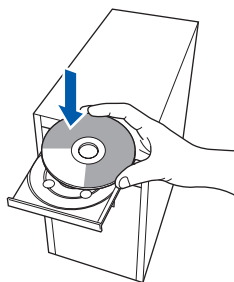
BRAdmin Lightは、ネットワークプリンタなどネットワークに接続されたデバイスの管理を行います。

Windows®でBRAdmin Lightを使う

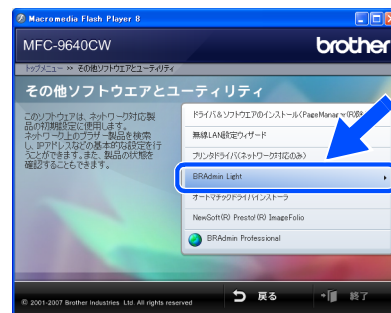
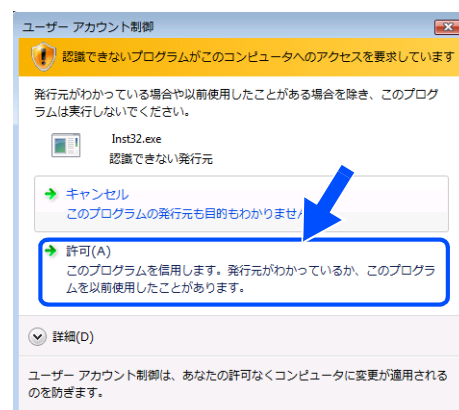
Windows® では、付属の CD-ROM から BRAdmin Lightをインストールします。

インストールする

1 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

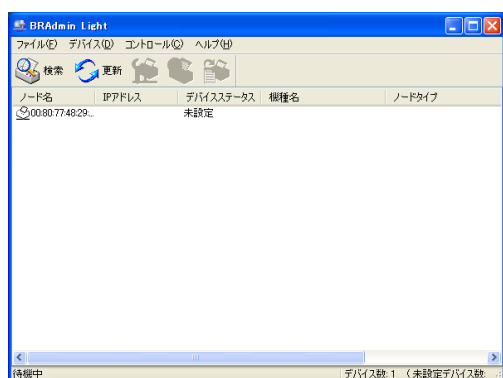
自動的に初期画面が現れます。画面の指示に従って操作してください。

2 ［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする

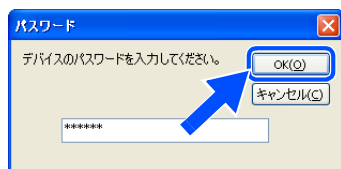
3 ［BRAdmin Light］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

BRAdmin Lightでネットワークの設定をする

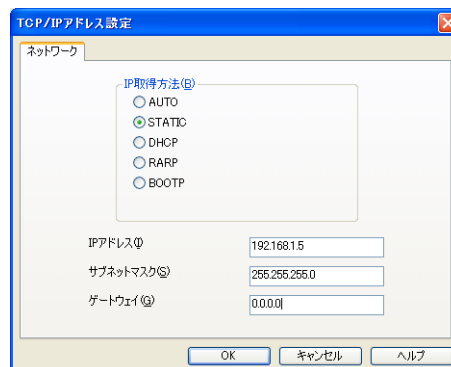
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］を選ぶ

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

2 設定する機器をダブルクリックして選ぶ

パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

補足

● デバイスのパスワードは、お買い上げ時は「access」に設定されています。

● パスワードはBRAdmin Lightで変更することができます。

3 ［ネットワーク］タブを選択し、IP取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

4 ［OK］をクリックする

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

注意

■Windows®で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Lightを利用できません。利用する場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。詳しくは、「ファイアウォールやウイルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項」P.24を参照してください。

補足

BRAdmin Lightを使ってネットワークを設定する方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

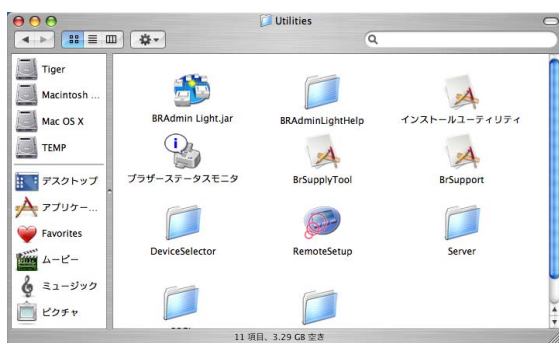
Macintosh®でBRAdmin Lightを使う

BRAdmin Lightはドライバをインストールしたときに同時にインストールされています。

補足

お使いのネットワーク環境がIPアドレスの設定規則に適さない場合は、以下の手順に従ってBRAdmin Lightを使用して本製品のIPアドレスを設定してください。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

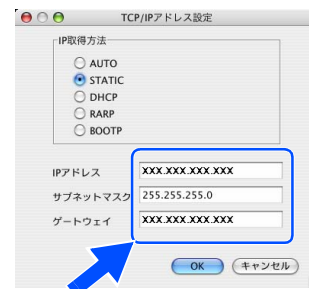
1 デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選ぶ

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

2 新しいデバイスをダブルクリックする

パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

補足

- デバイスのパスワードは、お買い上げ時は「access」に設定されています。
- パスワードはBRAdmin Lightで変更することができます。

3 ［ネットワーク］をクリックし、IP取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

4 ［OK］をクリックする

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

Webブラウザで管理する

本製品をネットワーク接続で使用している場合、本製品に内蔵されているHTTPサーバーを使用して、Webブラウザから設定を確認、変更することができます。

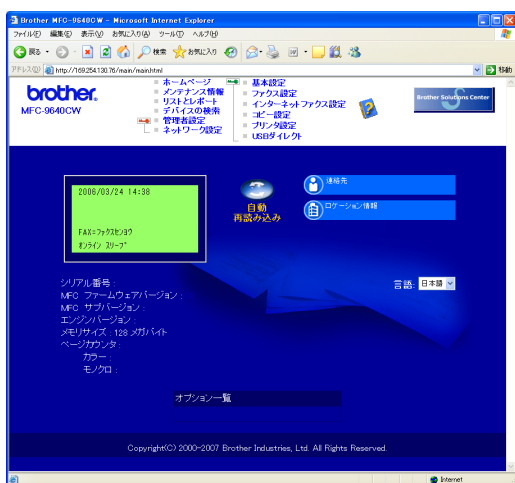
補足

- お買い上げ時はユーザー名は「admin」、パスワードは「access」に設定されています。
- Webブラウザで管理を行うためには、本製品のIPアドレスを確認する必要があります。IPアドレスの確認方法は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。
- 対応しているWebブラウザは次のとおりです。
  Windows®の場合
  - Microsoft Internet Explorer 6.0®以降（JavaScript有効・Cookie有効）
  - Mozilla Firefox®1.0以降（JavaScript有効・Cookie有効）

  Macintosh®の場合
  - Safari™1.0以降

1 Webブラウザを起動する

2 「http://"ip_address"」と入力する

"ip_address"の部分には、本製品のIPアドレスを入力してください。

補足

Web ブラウザを使った管理方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

本製品を確認する

パソコンに接続する

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

Windows®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続

Macintosh®

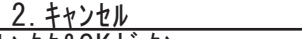
付 録

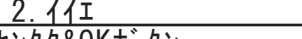
ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（LAN設定リセット）

現在のLAN設定を全て初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

1 を押す

メニュー を押した後、▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

2 1 を押す

- 2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。
- ▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

3 1 を押す

- 2 ABC を押すと、設定メニューに戻ります。
- 1 を押すと、数秒後に本製品が再起動します。
- ▲ または ▼ で選択して OK で決定することも可能です。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使えるようにするための準備が完了しました。本製品をお使いいただくときは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を閲覧するには

Windows®の場合

パソコンにプリンタドライバをインストールすると、WindowsのスタートメニューからHTML形式の［画面で見るマニュアル（HTML形式）］を閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX※］－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選んでください。
※XXXXはモデル名です。

Macintosh®の場合

付属のCD-ROMから「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を閲覧できます。
CD-ROM の［Documentation］フォルダをダブルクリックします。［cv_mfc_XXXX※_jpntop.html］ファイルをダブルクリックして開いてください。
※XXXXはモデル名です。

動作環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。またブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

Windows®

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ、64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home / XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ、128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ、256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003※
  32ビット（x86）プロセッサ、128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ、512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ

※ネットワーク接続のみ

補足

上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home / XP Professional / XP Professional x64 Edition
  460MB以上の空き容量
- Windows Server® 2003
  50MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

USBホスト
Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE 802.11b/g）

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh®

OS/メモリー

Mac OS® X 10.2.4～10.4.8/128MB（推奨256MB）以上
Mac OS® X 10.4.4以降/512MB（推奨1GB）以上

CPU

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz以上
Mac OS® X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

480MBの空き容量

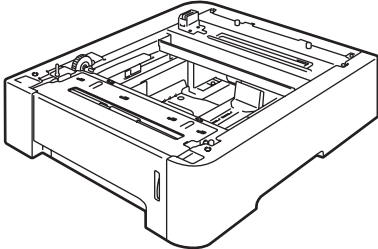
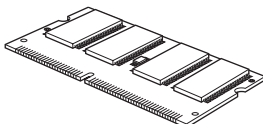
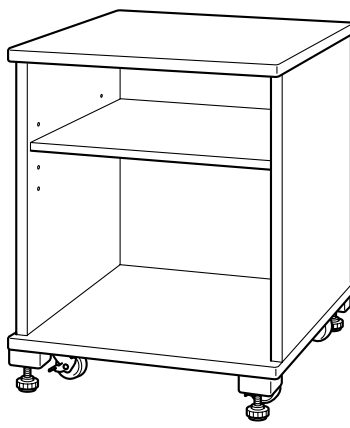
CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のMacintosh®でもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE 802.11b/g）

補足

- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

オプション製品のご案内

本製品に装着できるオプションです。オプションを装着することで本製品の機能をさらに拡張してお使いいただけます。

増設記録紙トレイ（トレイ2）：LT-100CL	メモリー：144ピンタイプSO-DIMM
 ※最大500枚の普通紙をセットできます。 多目的トレイ（MPトレイ）と合わせて最大800枚の給紙ができます。	 （市販品） ※市販のメモリ（DIMM144ピン）を取り付けて増設することができます。
プリンタ台：PS-100	
 ※本製品を設置する台です。 収納物に合わせて中棚を４段階の位置に調整できます。台を固定するアジャスター、移動に便利なキャスターも付属しています。	

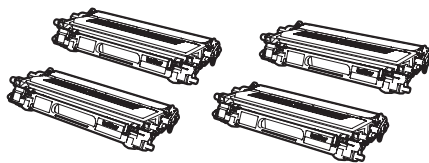
消耗品

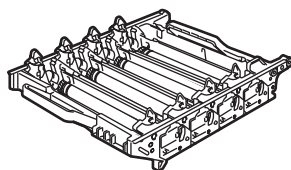
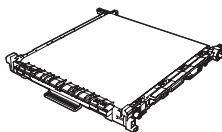
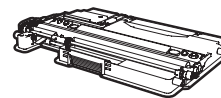
本製品で必要となる消耗品は以下のとおりです。

補足

消耗品は、ご注文シートを使ってダイレクトクラブでご購入いただけます。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.297 を参照してください。

トナーカートリッジ

標準タイプ：TN-190C（シアン）/ TN-190M（マゼンタ）/ TN-190Y（イエロー）/ TN-190BK（ブラック）
大容量タイプ：TN-195C（シアン）/ TN-195M（マゼンタ）/ TN-195Y（イエロー）/ TN-195BK（ブラック）

印刷可能枚数
TN-190C/TN-190M/TN-190Y/TN-190BK BK：約2,500枚※1、2　C/M/Y：各約1,500枚※1、2<同梱品>
TN-195C/TN-195M/TN-195Y/TN-195BK BK：約5,000枚※1、2　C/M/Y：各約4,000枚※1、2
（A4サイズを印刷密度5%で印刷した場合）

ドラムユニット：DR-190CL	ベルトユニット：BU-100CL	廃トナーボックス：WT-100CL
印刷可能枚数 約17,000枚※3、4	印刷可能枚数 約50,000枚※5	印刷可能枚数 約20,000枚※2

※1 A4を印刷密度5%で印刷した場合
※2 印刷の内容によって実際の印刷枚数と異なります。
※3 A4を1回に1ページ印刷した場合
※4 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。
※5 A4を印刷した場合

補足

実際の印刷枚数は、使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容によって異なります。

商標について

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。